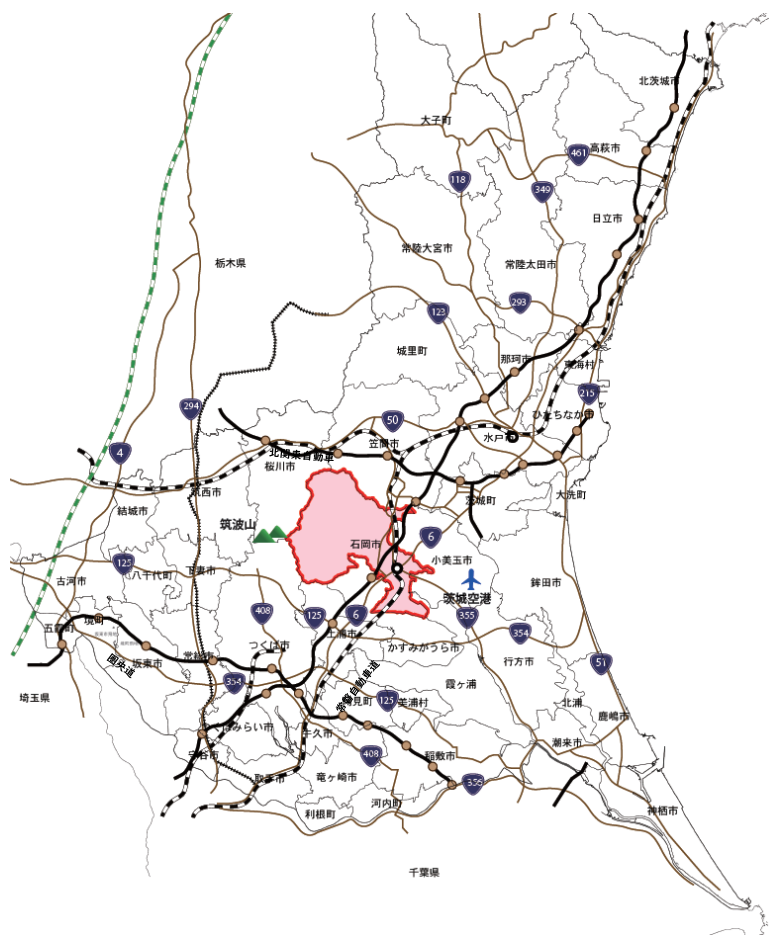


第2章. 地域及び公共交通の現況

2-1 地域の現況

(1) 位置及び地勢

- 本市は、平成17年10月に旧石岡市と旧八郷町が合併して誕生した市で茨城県のほぼ中央部に位置し人口70,666人(令和5年4月1日現在)、総面積は215.53 km²です。市の大半は関東平野特有の平坦な地形で構成され西部から北部にかけて筑波山系が連なりそこから市街地に向けてなだらかな丘陵地が広がっています。さらに恋瀬川が注ぐ東南部には日本第二の湖面積を誇る霞ヶ浦が広がっています。
- 交通環境としては首都圏から東北地方を結ぶ常磐自動車道、国道6号、JR常磐線が市を南北に貫き、この交通条件の良さが、市民生活はもちろん企業誘致や農作物の出荷等において有利に働いています。さらに、平成17年に開通したつくばエクスプレスや平成22年に開港した茨城県の空の玄関口である茨城空港、北関東自動車道・東関東自動車道水戸線・首都圏中部連絡自動車道の開通による常磐自動車道を基軸として、高速道路ネットワークの形成等本市の交通条件をより向上させる広域交通網の整備も進んでいます。

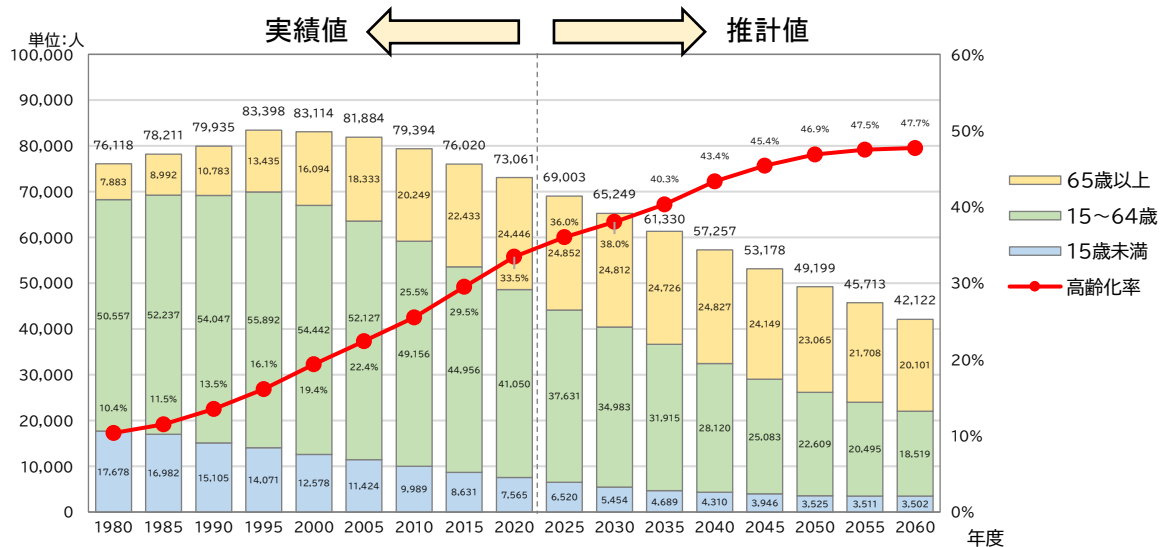


出典:石岡市都市計画マスタープラン

図 石岡市の位置

(2) 人口の推移・高齢化率

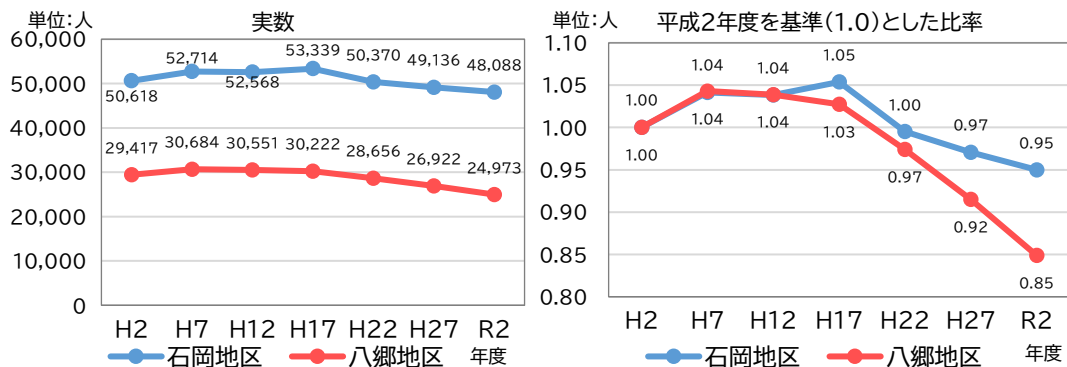
- 国勢調査によると、石岡市の人口は1995年(H7)の8.3万人をピークに減少に転じており、2020年(R2)時点で7.3万人です。国立社会保障・人口問題研究所の推計値によると、2060年には4万人程度になる見込みです。
- 高齢化率は2020年(R2)時点で33.5%であり、将来的には47.7%に達する見込みです。



出典：2020年まで国勢調査／2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計値

図 石岡市の年齢別人口推移・将来推計値

- 地区別の人口をみると、石岡地区の方が八郷地区よりも2倍程度多くなっており令和2年4月1日現在では石岡地区は48,088人、八郷地区は24,973人となっています。
- 平成2年度から令和2年度までの地区別人口の推移は、両地区ともに減少傾向にあります。特に八郷地区での減少が顕著となっています。

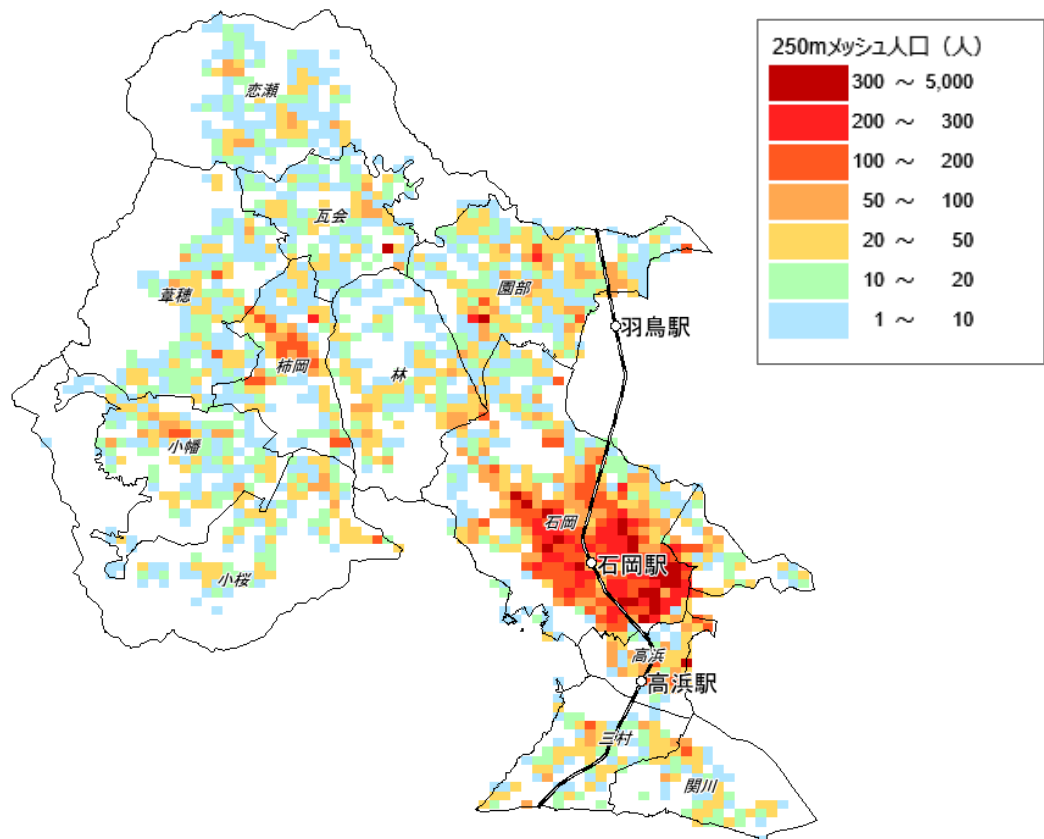


出典：国勢調査

図 地区別の人口の推移

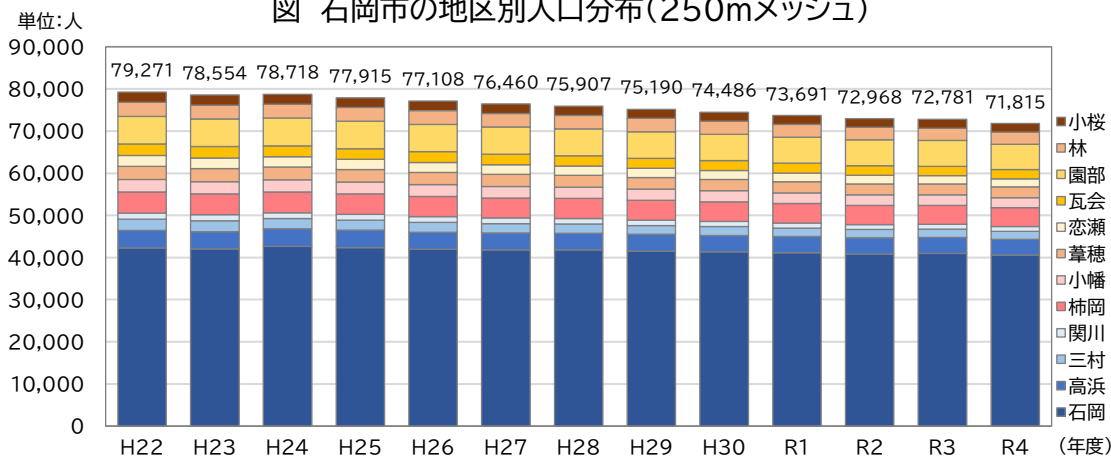
(3) 人口分布

- 住民基本台帳によると、石岡市の地区別人口は石岡地区に市の人口の約半数の約4万人が集積しており、次いで園部地区や高浜地区、柿岡地区における集積がみられます。



出典：令和2年度国勢調査

図 石岡市の地区別人口分布(250mメッシュ)

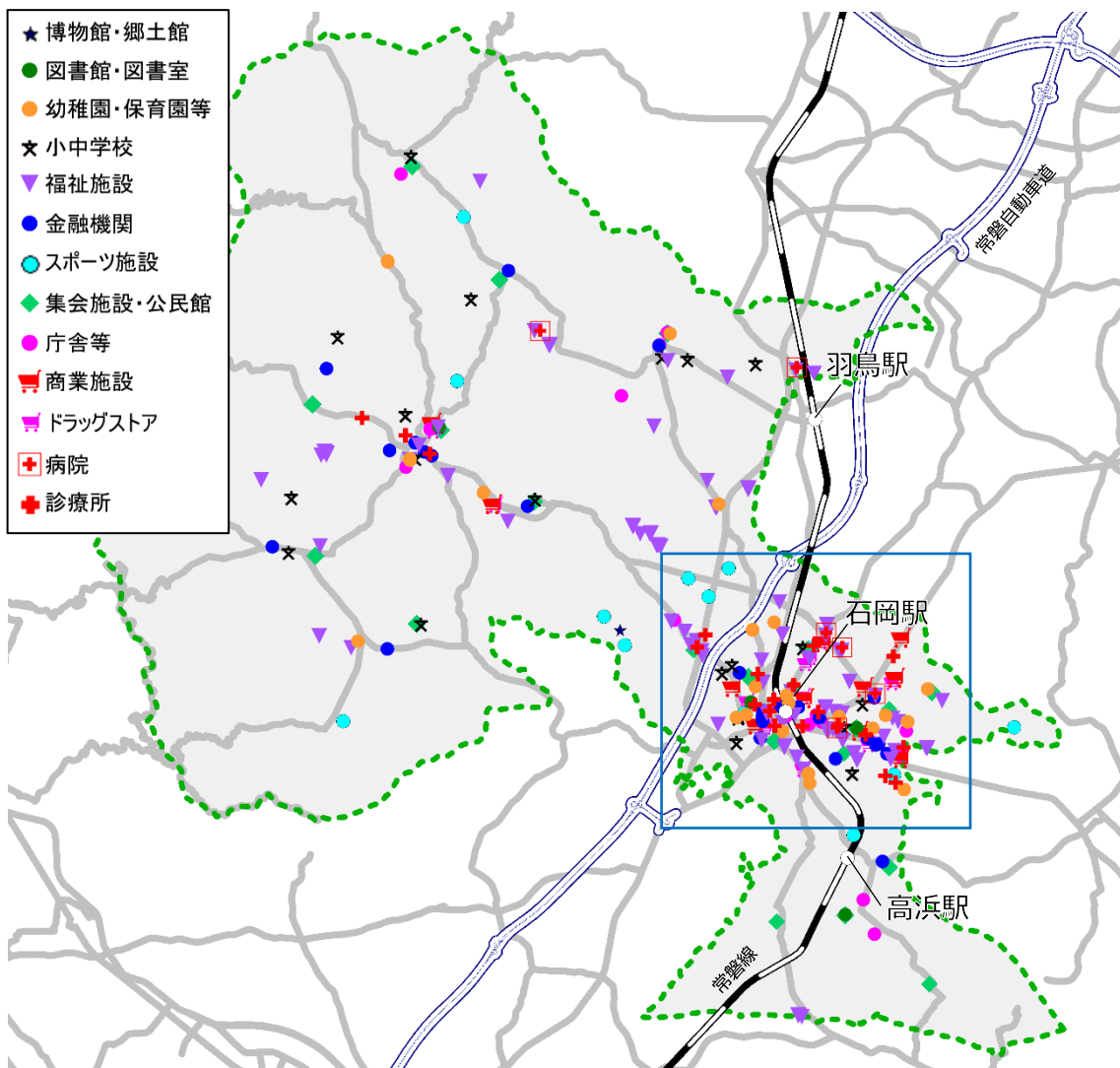


出典：住民基本台帳(各年1月1日時点のもの)

図 石岡市の地区別人口推移

(4) 各種施設の立地状況

- 公共施設、教育施設、商業施設、医療施設、観光施設といった各種施設の立地は広範囲に点在していますが、中でも人口の集中する石岡市街地、柿岡市街地の周辺では、多様な施設が集積しています。



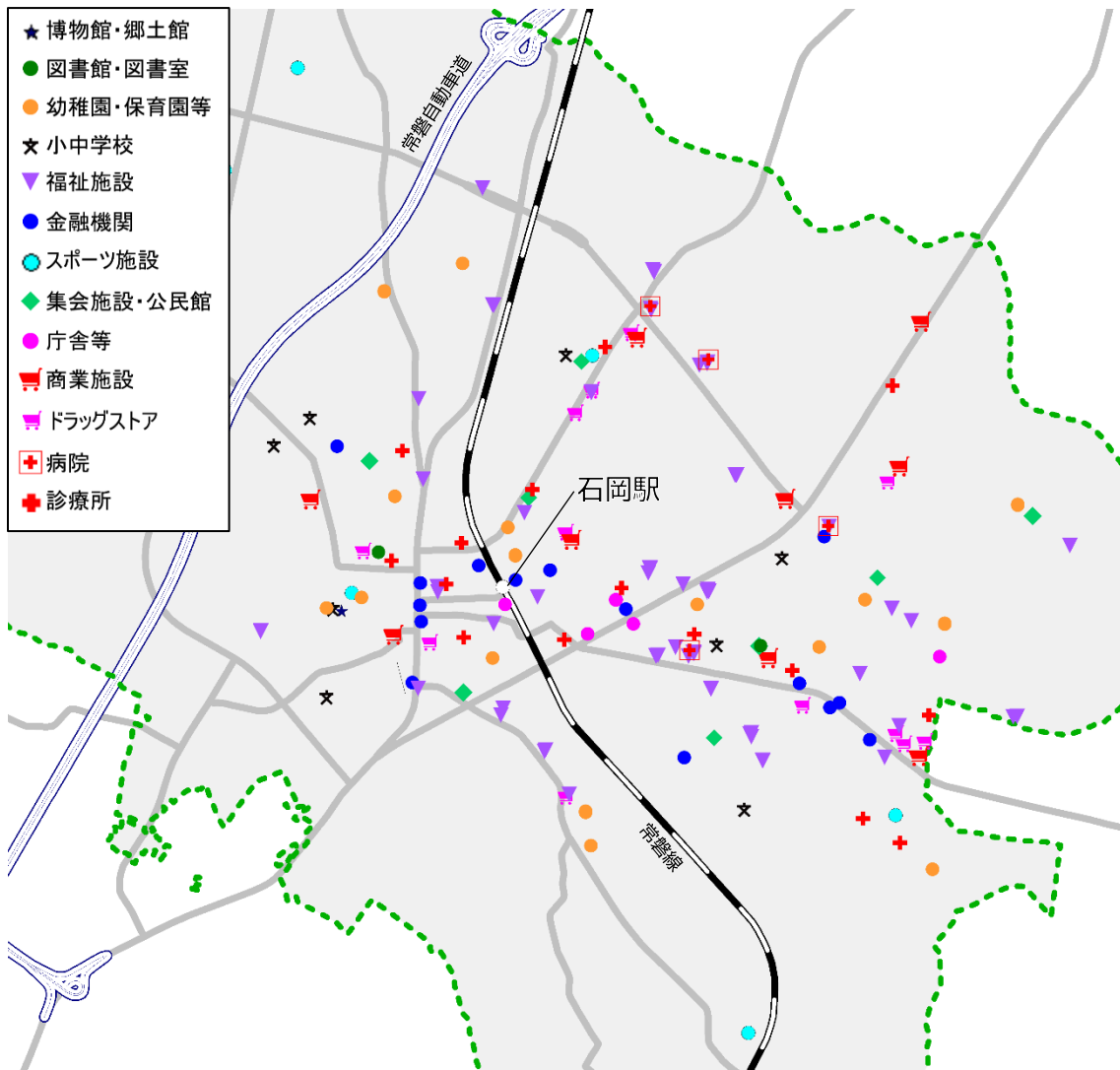
出典：石岡市資料

図 施設立地状況図

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況



出典:石岡市資料

図 施設立地状況図(石岡市中心部)

(5) 土地利用現況

- ・ 農地・山林等の自然的土地利用が市全域の約80%を占めます。(■ ■ ■)
- ・ 八郷地域で筑波山からの丘陵地帯で山林・農地が広がっています。
- ・ 宅地や道路等の都市的土地利用が約20%を占めます。(■ ■ ■)
- ・ 石岡地域で石岡駅を中心に市街地が広がっています。
- ・ 市街地の北側(柏原地区)には工業団地があります。

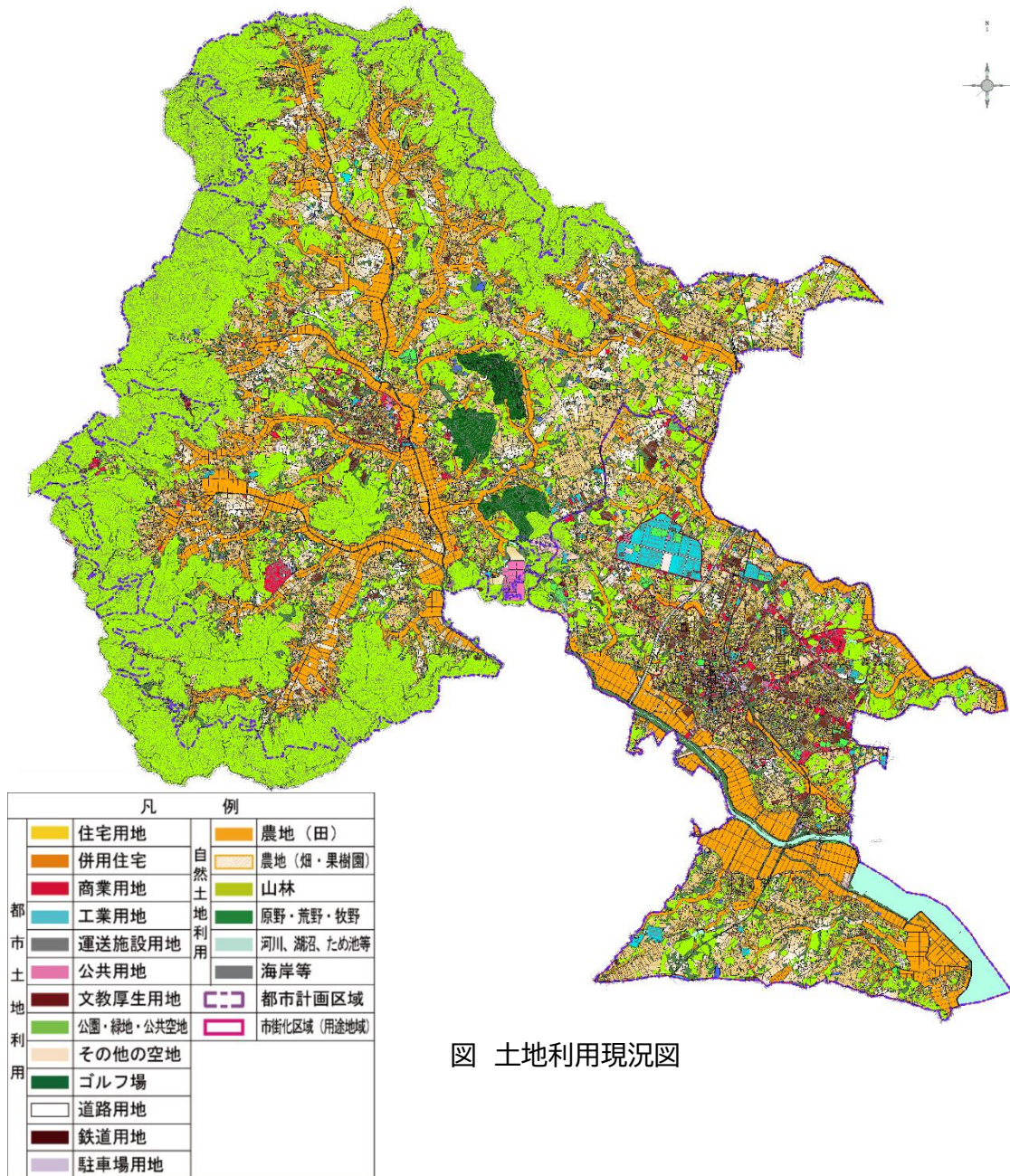


図 土地利用現況図

(6) 交通流動特性

① 通勤・通学流動

- 石岡市民の市内に通勤・通学する市民は約6割となっています。
- 市外への通勤・通学先で多いのは、土浦市、小美玉市となっています。
- 石岡市の通勤・通学で多いのは、小美玉市、笠間市、かすみがうら市になります。

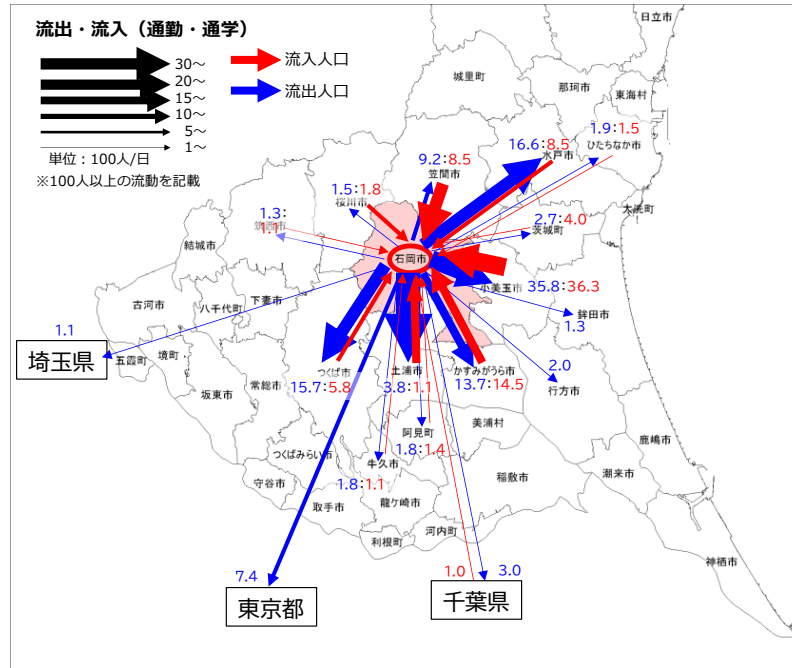


図 通勤・通学目的の流出・流入人口 出典：令和2年度国勢調査

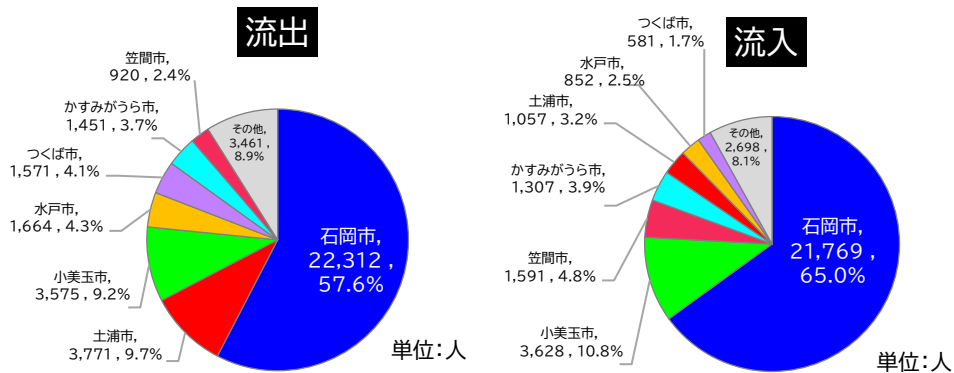


図 通勤・通学目的の流出・流入別割合

表 通勤・通学目的の流出・流入人口

単位：人/日	流出	流入
通勤通学人口総数	38,725	33,483
うち、市外へ、市外から	16,413	11,714

② 通院流動

- 石岡市民の市内通院割合は約7割であり、残りの3割が市外へ通院しています。
- 市外の通院先で最も多いのが、土浦市、次いでつくば市、小美玉市となっています。
- 石岡市への通院が最も多いのは、小美玉市になります。

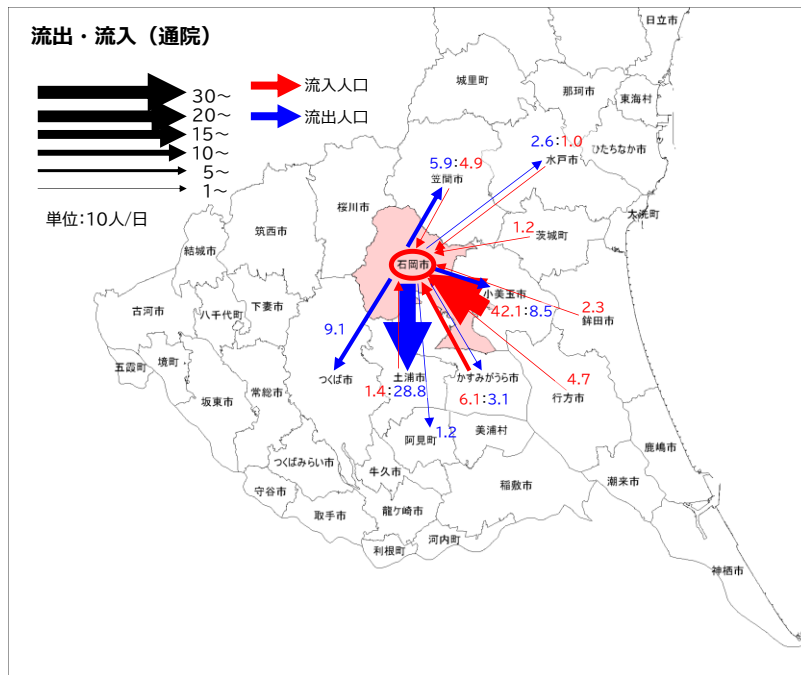


図 通院目的の流出・流入人口 出典：茨城県受療動向調査(令和3年度)

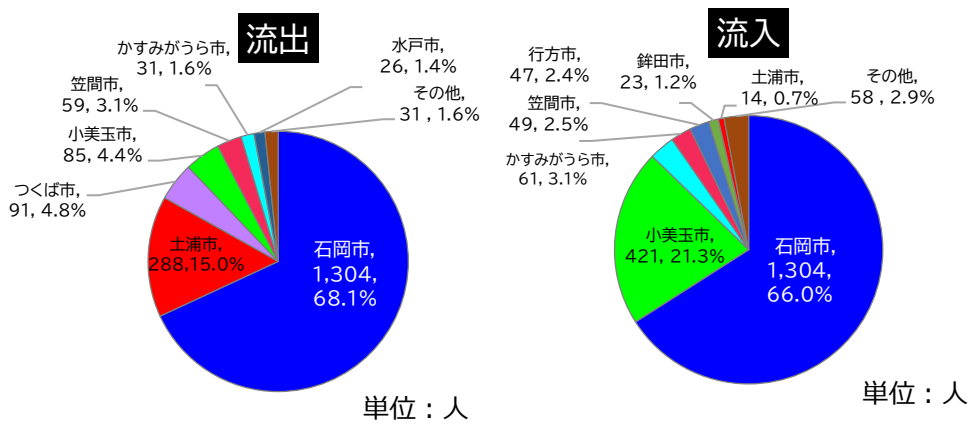


図 通院目的の流出・流入別割合

表 通院目的の流出・流入人口

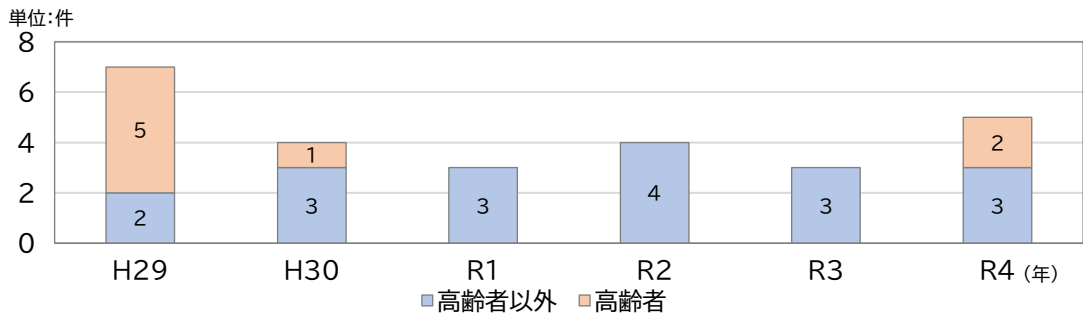
単位:人	流出	流入
通院人口総数	1,915	1,977
うち市外へ	611	673

出典：茨城県受療動向調査(令和3年度)

2-1 地域の現況	2-2 公共交通の 現況
--------------	--------------------

(7)交通死亡事故件数

- ・ 交通事故による死亡者件数は、直近の令和4年で5件でした。推移に大きな変化は見られません。



出典:茨城県警交通事故統計資料

図 石岡市における交通事故の死亡者数の推移

(8)免許保有者数・返納件数の推移

- ・ 市全体での運転免許保有者数は減少傾向にある一方、65歳以上の運転免許保有者数は増加傾向にあります。
- ・ 運転免許返納者も増加傾向にあります。今後も免許返納者の増加が見込まれる中、高齢者を中心に自動車を運転できない市民の移動手段の確保が大きな課題として生じることが予測されることから、その対応について検討する必要があります。

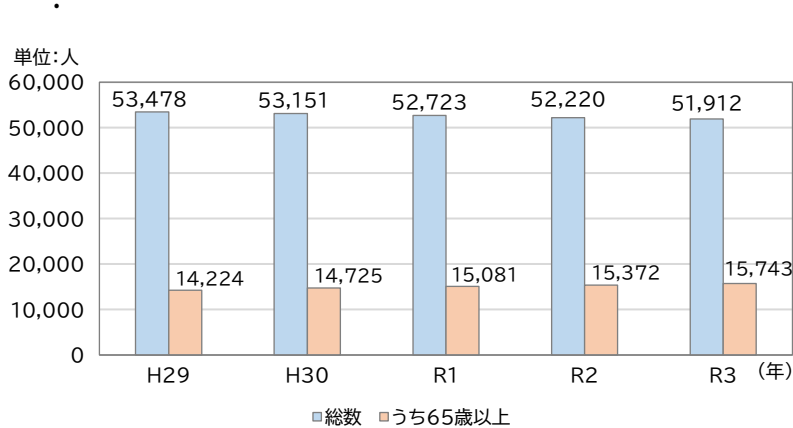


図 石岡市における運転免許保有者の推移

出典:統計いしおか

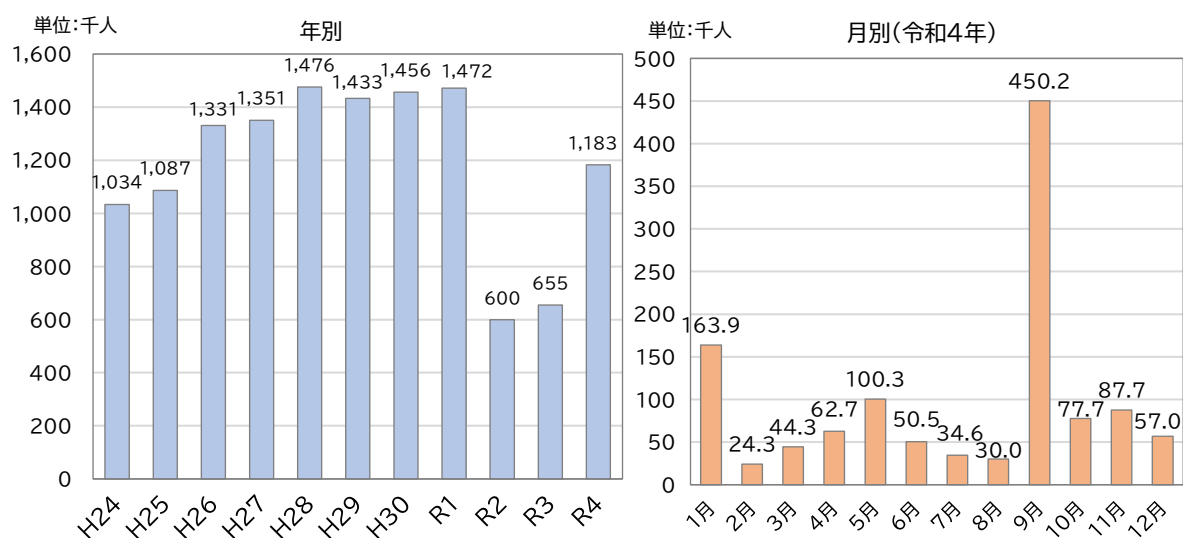
表 石岡市における運転免許返納者

単位:人	H29	H30	R1	R2	R3
総数	159	191	250	256	230
うち65歳以上	151	183	240	245	222

出典:統計いしおか

(9) 観光動向

- ・ 新型コロナウイルスの蔓延により令和2年、令和3年は観光入込客数が激減しています。
- ・ 令和4年の観光客数は前年と比較して増加しましたが、コロナ前の水準には及んでいません。
- ・ 令和4年の月別の推移をみると、「石岡のおまつり」が開催される9月に多くの来訪者があることが分かります。



出典:茨城の観光レクリエーション現況

図 石岡市の観光入込客数の推移(年別・月別)

表 観光施設の来場者数(令和4年)

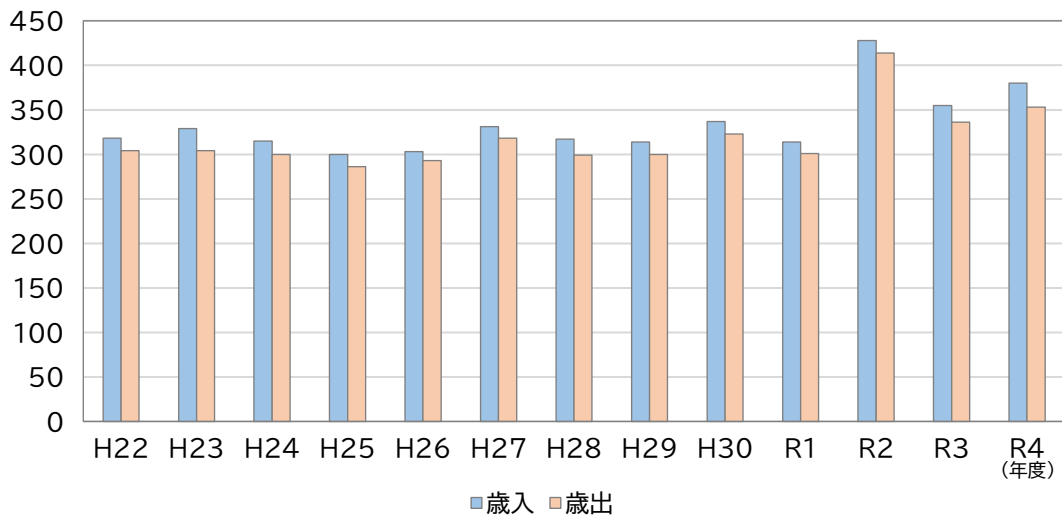
施設名	単位:人
いばらきフラワーパーク	252,245
やさと温泉ゆりの郷	116,263
常陸風土記の丘	111,012
ふれあいの森	45,861
つくばねオートキャンプ場	14,646
体験型観光施設 朝日里山学校	9,117

出典:石岡市資料

(10) 財政状況

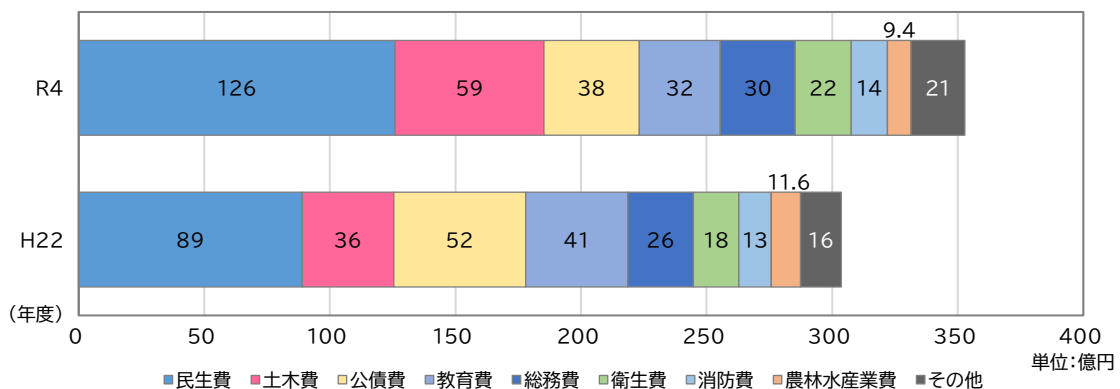
- ・ 本市の財政は、決算状況から見ると、令和2年度に新型コロナウイルス感染症が蔓延したこともあり、その対策として歳入額・歳出額が増加していますが、全体として横ばいを維持しています。
- ・ 歳出については、障がい者福祉や児童福祉等の用途に使われる民生費の増加が顕著となっています。これらの費用のほか、公共施設の老朽化に伴う更新費用の増大が予想されることから、財政の厳しさは増すものと想定されます。

単位:億円



出典:石岡市財政事情書

図 決算額の推移



出典:石岡市財政事情書

図 目的別歳出額の変化

2-2 公共交通の現況

(1) 鉄道・道路網の現況

- ・ JR常磐線が南北を縦断する本市には、石岡駅、高浜駅の2駅が設置されています。
- ・ 本市は、茨城県を南北に縦断する国道6号と、国道355号の合流点となっています。また、石岡地区、八郷地区それぞれの市街地から放射状に伸びる主要地方道等の県道によって周辺市と結ばれており、道路交通における要衝となっています。平成24年には朝日トンネル、令和3年には茨城空港アクセス道路が整備されましたが、今後も、国道6号千代田石岡バイパスや上曾トンネル等、新たな交通基盤の整備計画が進められています。

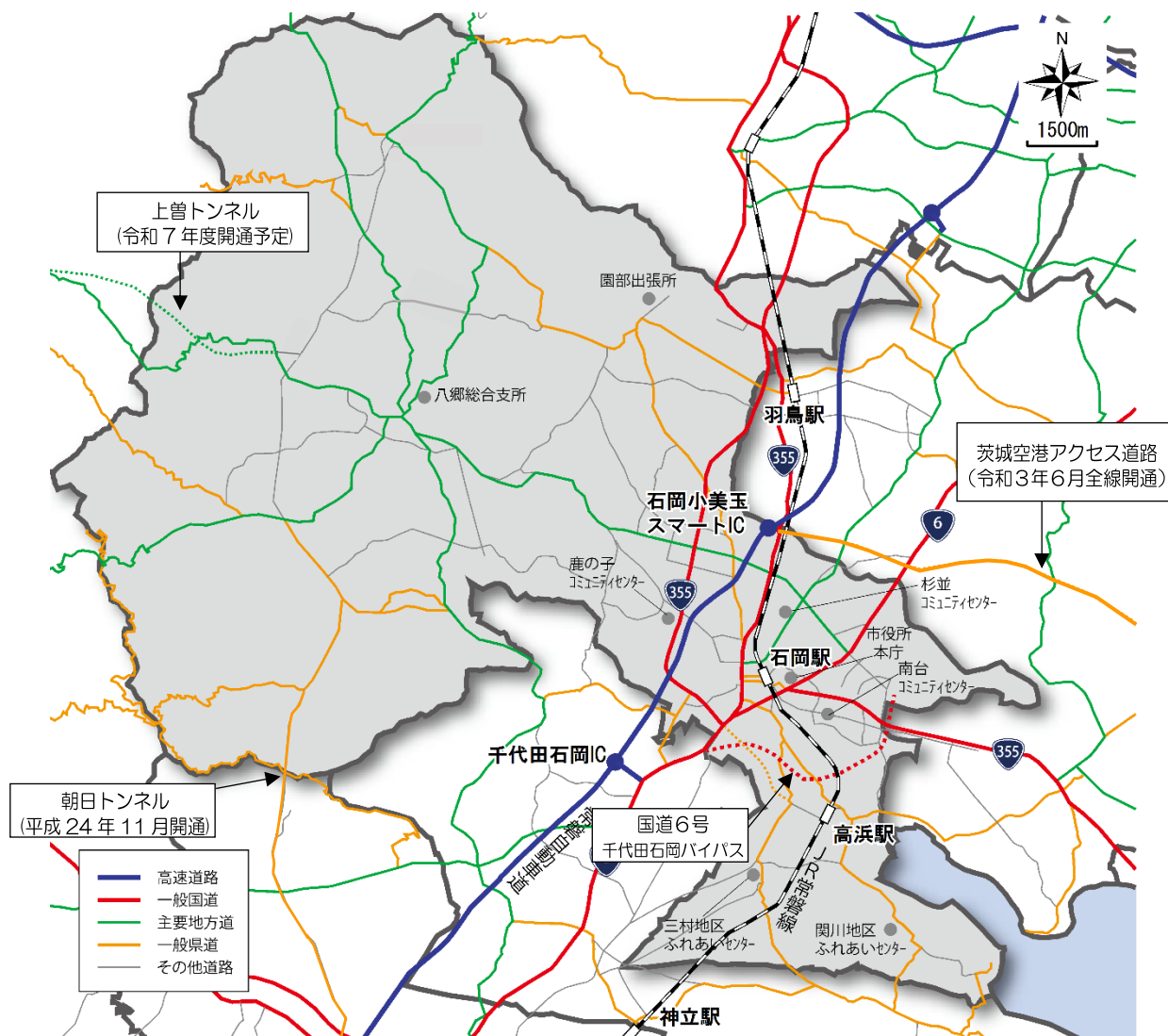


図 石岡市周辺の鉄道・道路網

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

(2) 公共交通ネットワークの現況

種類	概要
鉄道	国道6号と並行して市を南北に常磐線が運行しており、市内には2か所の駅(石岡駅と高浜駅)が存在します。
高速バス	本市を縦断する常磐自動車道を走るもので、5路線が運行されており、常磐自動車道の高速バス乗り場より利用できます。
路線バス	本市に本社を有する関鉄グリーンバス株式会社が8路線、関東鉄道株式会社(土浦市)が1路線を運行しており、旧市町を結ぶ路線と周辺自治体(水戸市、小美玉市、かすみがうら市、土浦市、行方市、鉾田市)とを結ぶ路線が放射状に運行されています。
乗合いタクシー (乗合いタウンメイト)	石岡市社会福祉協議会が事業主体となり、市内在住者を対象として、ドアツードアのフルデマンド方式による区域運行を行っています。令和5年3月からAIシステムの導入を行ったことで利便性の向上につながっています。
タクシー	市内に事業所を置く7社を含め、10社が市内でタクシーの営業を行っています。
福祉有償運送	石岡市社会福祉協議会では、単独で公共機関を利用できない方を対象とした福祉移送サービスを実施しています。

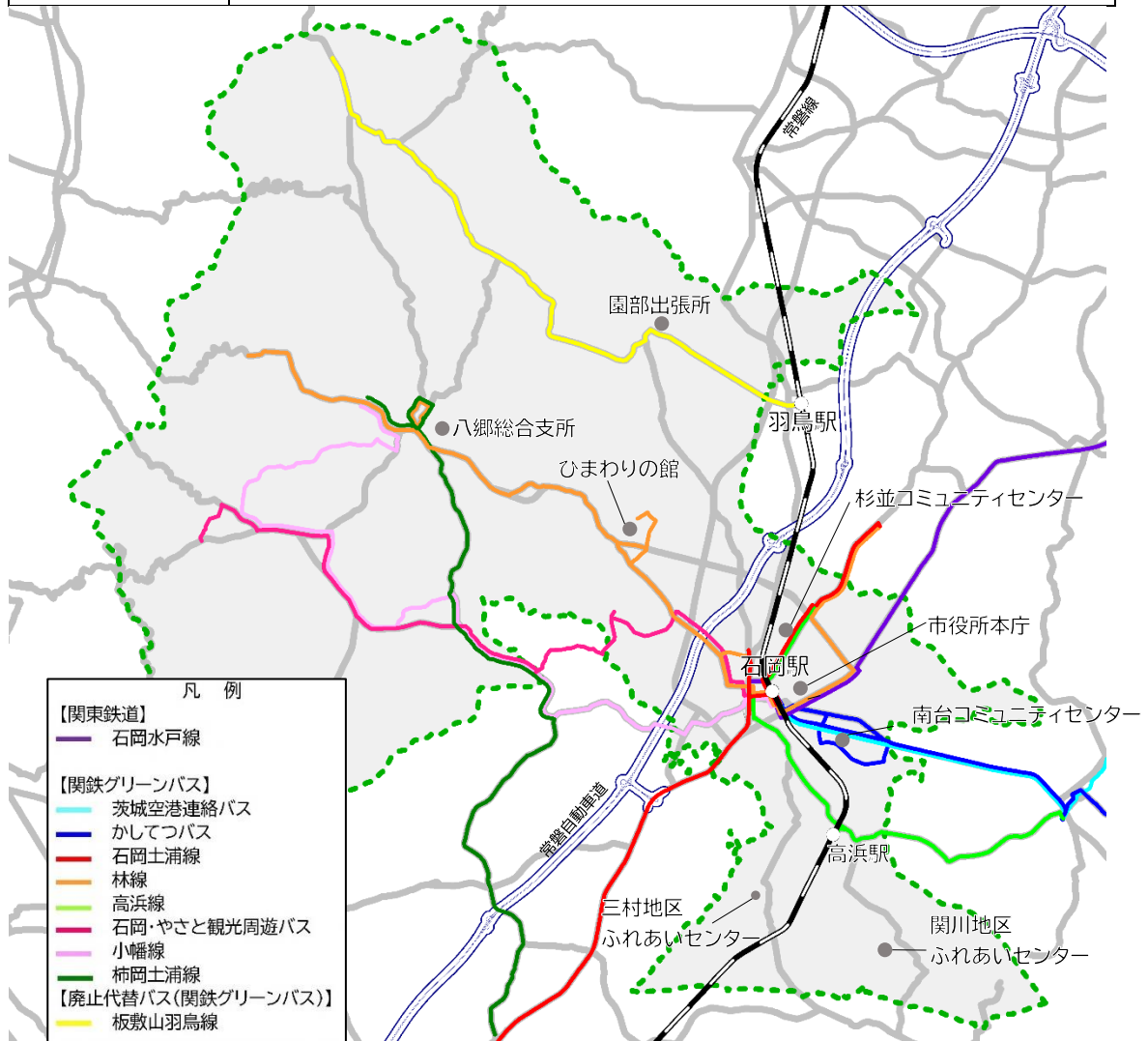
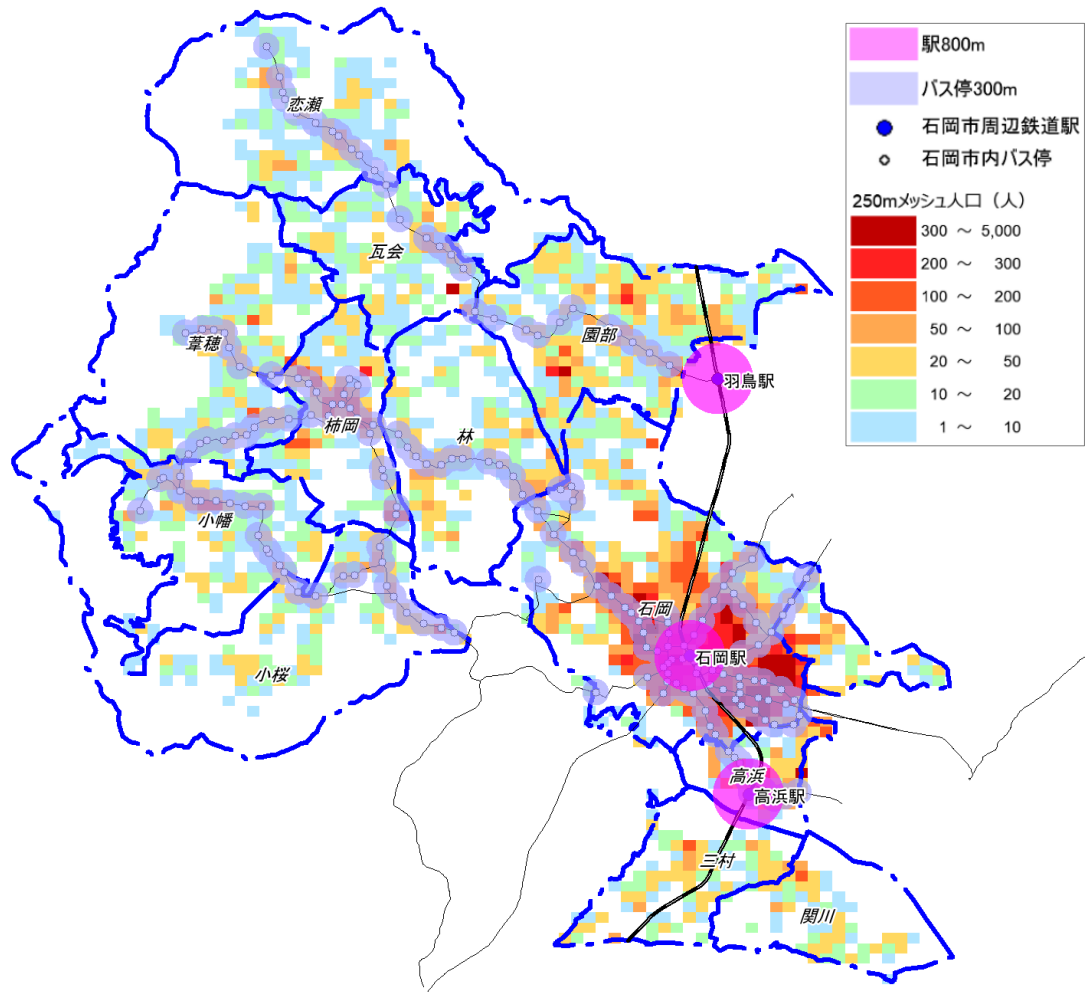


図 公共交通のネットワーク

(3) 公共交通カバー状況

- ・ 本市の鉄道及び路線バスによるカバー状況については、ある程度の人口集積がありながらも、カバーされていない交通不便地域が点在しています。
- ・ 乗合いタクシーにより市全域をカバーしているため、本市に交通空白地域はありません。



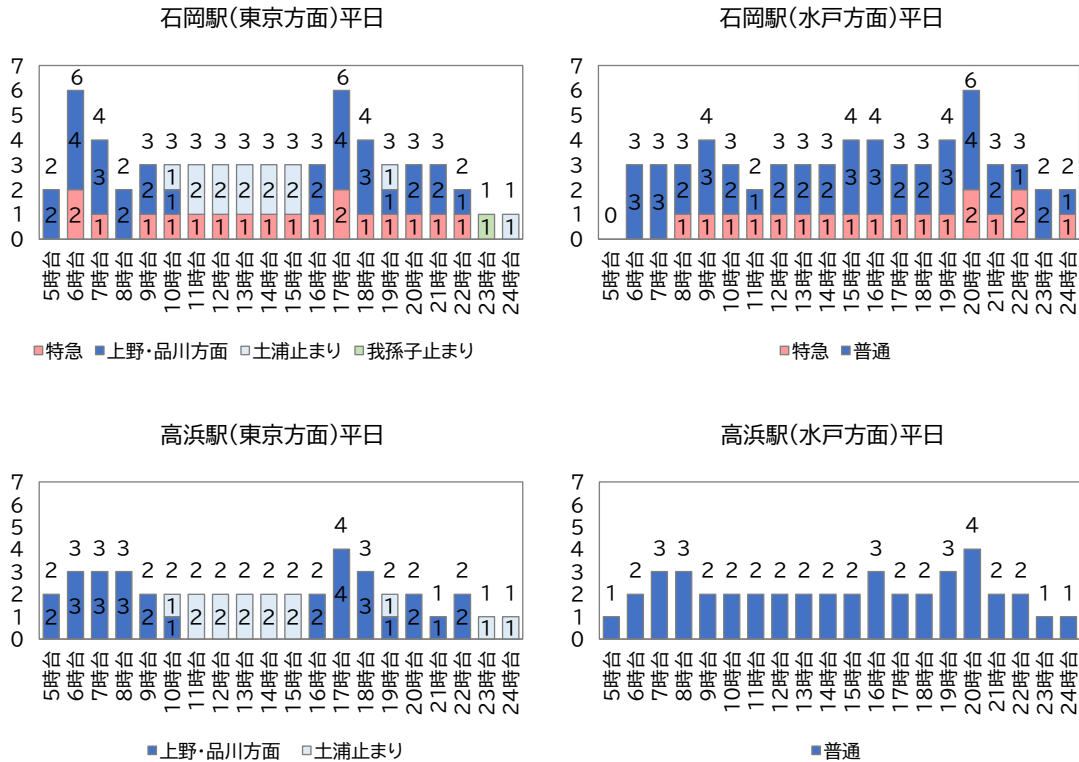
※公共交通カバー圏域 鉄道駅から 800m、バス停から 300m

図 本市の公共交通カバー状況(令和5年度時点)

(4) 鉄道(JR常磐線)

① 運行本数

- ・ 石岡駅は、朝・夕のピーク時間で上り6本／時間、下り4～6本／時間です。
- ・ 高浜駅は、17時台の4本／時間が最も多く、日中の時間帯は2本／時間となっています。また、日中時間帯の上り列車は全て土浦止まりです。



出典：JR東日本HP

図 石岡駅・高浜駅における時間帯別運行本数(令和6年1月現在)

- ・ 石岡駅は、平日58本、休日58本、高浜駅は平休日共に41本の運行本数があります。

表 石岡駅・高浜駅の終着駅別運行本数(令和6年1月現在)

終点駅		土浦駅	上野駅	品川駅	その他	合計
石岡駅	平日	13	15	29	1	58
	休日	14	13	30	1	58
高浜駅	平日	13	14	13	1	41
	休日	14	13	13	1	41

出典：JR東日本HP

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

- 石岡駅では、平休日共に上り・下りそれぞれ17本の特急列車が運行されています。

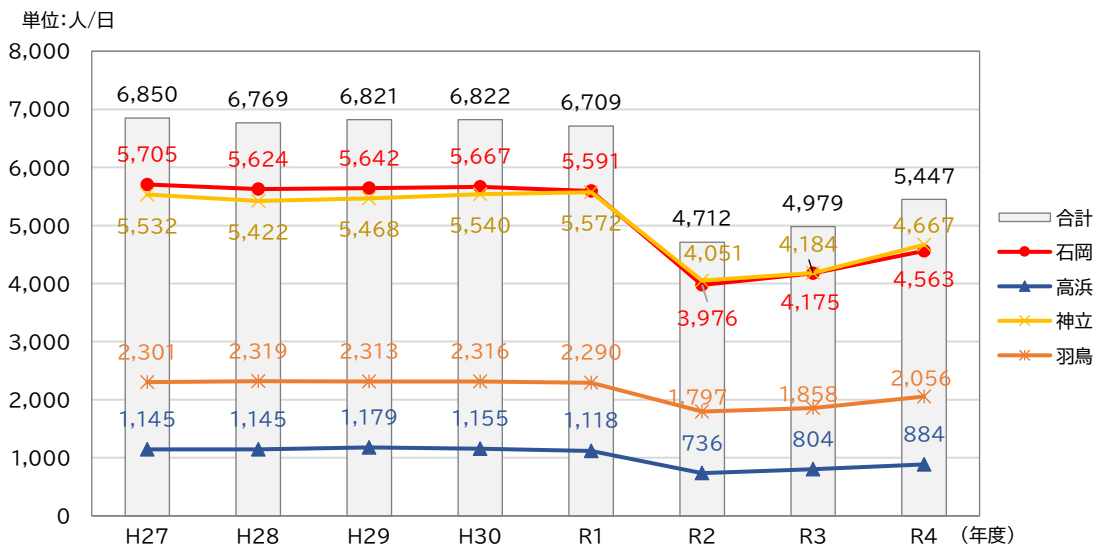
表 石岡駅・高浜駅の平休日別列車等級別運行本数(令和6年1月現在)

			普通	特別 快速	特急	その他	合計
石岡駅	上り	平日	41	0	17	0	58
		休日	41	0	17	0	58
	下り	平日	42	0	17	0	59
		休日	42	0	17	0	59
高浜駅	上り	平日	41	0	0	0	41
		休日	41	0	0	0	41
	下り	平日	42	0	0	0	42
		休日	42	0	0	0	42

出典:JR東日本HP

② 利用状況

- 石岡市内にある石岡駅と高浜駅の令和4年度時点の乗車客数は合計で5.4千人／日(うち4.5千人／日が石岡駅)です。
- 新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い令和2年度以降減少しており、令和4年度は回復傾向にあります。引続き、回復状況について注視する必要があります。



出典:JR東日本HP

図 石岡駅・高浜駅等の乗車客数の推移

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

(5) 高速バス

① 運行本数

- 過年度策定時(平成30年度)の状況と比較すると、土浦～水戸間の路線は増加している一方で、東京駅、羽田空港方面への路線が半減しています。

表 平成30年度の路線別運行本数(本/日)

事業者	行先	経由地	運行本数			
			平日		休日	
			往	複	往	複
関東鉄道	土浦・つくば・水戸	土浦駅～水戸駅～水戸市内	2	2	0	0
関東鉄道 茨城交通 JRバス関東	水戸・東京	水戸駅～上野駅～東京駅	52	58	52	58
茨城交通 日立電鉄交通サービス 京急バス	日立・水戸・羽田空港	日立駅～水戸駅～羽田空港	5	5	5	5
関東鉄道	東京ディズニーリゾート	水戸駅～東京ディズニーリゾート	1	2	1	2
茨城交通	名古屋	日立駅～水戸駅～名古屋駅	1	1	1	1
関東鉄道 近鉄バス	京都・大阪・USJ	水戸駅～京都駅～大阪駅～USJ	1	1	1	1
合計			62	69	60	67

出典:各社ホームページ

表 令和5年度の路線別運行本数(本/日)

事業者	行先	経由地	運行本数			
			平日		休日	
			往	複	往	複
関東鉄道	土浦・つくば・水戸	土浦駅～水戸駅～水戸市内	9	9	4	4
関東鉄道 茨城交通 JRバス関東	水戸・東京	水戸駅～上野駅～東京駅	24	24	40	40
茨城交通 日立電鉄交通サービス 京急バス	日立・水戸・羽田空港	日立駅～水戸駅～羽田空港	2	2	2	2
関東鉄道	東京ディズニーリゾート	水戸駅～東京ディズニーリゾート	1	2	1	2
茨城交通	名古屋	日立駅～水戸駅～名古屋駅	0	0	0	0
関東鉄道 近鉄バス	京都・大阪・USJ	水戸駅～京都駅～大阪駅～USJ	1	1	1	1
合計			37	38	48	49

出典:各社ホームページ

② 運行開始時期

- 名古屋行き 平成27年7月(令和2年8月から運休)
- 京都・大阪/ユニバーサルスタジオジャパン行き 平成29年7月
- 東京ディズニーリゾート行き 平成30年3月

③ 常磐道石岡バス停周辺の利用者専用無料駐車場の整備

- 周辺に利用者専用の無料駐車場を整備することで、利用促進が図られています。
- 既存の駐車場(44台)に加えて、満車状態を緩和するために、平成20年7月1日より臨時駐車場(21台)を供用開始しました。さらに臨時駐車場は平成28年2月より21台から60台に拡張されました。

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

(6) 路線バス

① 市内バス路線の概要

- 市内を運行する路線バスは次のとおりです。

表 令和5年度の各路線バス運行本数

事業者	区間		経由地	運行本数						利用者数 (人/日)			
				平日			休日						
				往	複	計	往	複	計				
関東鉄道	石岡水戸線	石岡車庫～水戸駅	石岡駅	1	0		1	0		4	231		
		石岡駅～水戸駅		4	4	10	1	2					
		石岡駅～松ヶ丘		0	1		0	0					
関鉄 グリーン バス	茨城空港連絡バス	石岡駅～茨城空港	専用道、小川駅	11	12		12	13		55	855		
		かしてつバス	石岡駅～新鉾田駅	専用道、小川駅、玉造駅、鉾田駅	4	3		3	3				
	石岡駅～鉾田駅		専用道、小川駅、玉造駅	6	6	77	4	4					
	石岡駅～玉里学園		専用道、小川駅	2	2		0	0					
	石岡駅～小川駅		専用道	13	15		8	8					
	石岡駅～小川駅		大谷津	1	0		0	0					
	石岡駅～南台循環		南台循環	1	1		0	0					
	石岡土浦線	石岡車庫～土浦駅	石岡駅	3	4		2	3				8	252
		石岡駅～土浦駅		1	0		1	0					
		ヒルズガーデン～土浦駅	石岡車庫、石岡駅	2	1	14	1	1					
		石岡二高～土浦駅	石岡駅	1	1		0	0					
	高浜線	石岡車庫～土浦駅	石岡駅	1	0	4	0	0				1	6
		石岡駅～土浦駅	高浜駅	1	2		1	0					
	林線	柿岡車庫～石岡駅	八郷中入口	3	2		3	2				26	331
		柿岡車庫～石岡駅	石岡共立病院	2	2	42	0	0					
		柿岡車庫～石岡駅	石岡二高入口	1	1		0	0					
		柿岡車庫～石岡駅		12	13		8	9					
		上曾～石岡駅	柿岡車庫	0	0		1	1					
		柿岡車庫～石岡車庫	石岡駅	2	1		1	1					
		柿岡車庫～ヒルズガーデン		1	2		0	0					
石岡・やさと 観光周遊バス	石岡駅～フラワーパーク	常陸風土記の丘	1	2	3	2	2		7	11			
	石岡駅～石岡駅	常陸風土記の丘、フラワーパーク	0	0		3							
小幡線	柿岡車庫～石岡駅	細内	2	1	6	1	0		1	9			
	フラワーパーク前～石岡駅		1	1		0	0						
	細内～石岡駅		0	1		0	0						
柿岡土浦線	柿岡車庫～土浦駅		3	6	14	2	3		7	201			
	柿岡車庫～土浦駅	八郷中入口	3	1		1	0						
	柿岡車庫～上志筑	八郷中入口	0	1		0	1						
廃止代替	板敷山羽鳥駅 線	板敷山前～羽鳥駅	恋瀬小学校前	6	6	13	6	6		12	60		
		板敷山前～恋瀬小学校		0	1		0	0					

※運行本数は令和5年8月現在。

※利用者数の出典：関東鉄道、関鉄グリーンバス提供資料

② ネットワーク

- 現状の路線バスネットワークは、石岡駅をハブとして複数路線が運行されているほか、高浜駅・羽鳥駅、柿岡地区の中心部にもネットワークが広がっています。

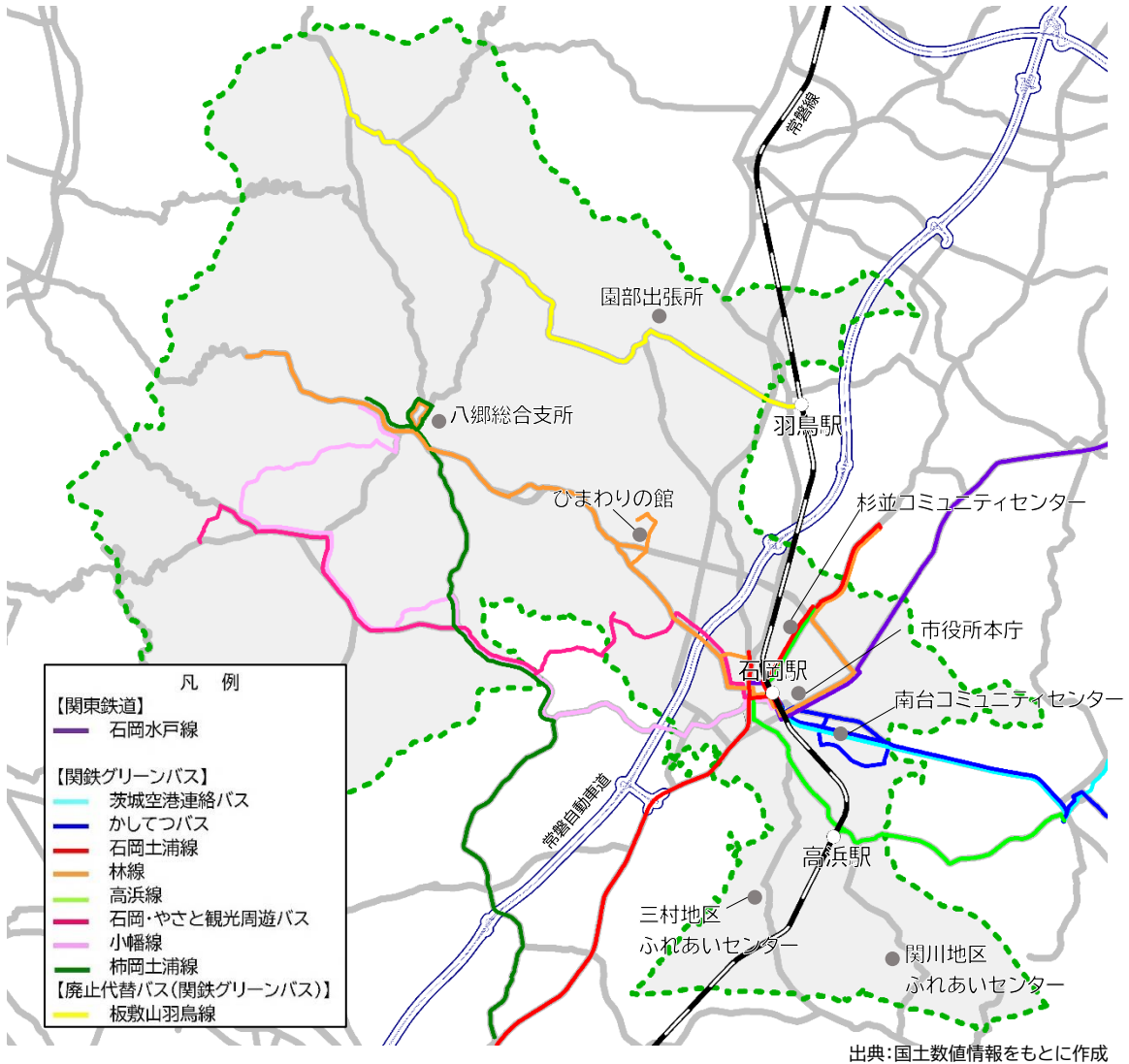
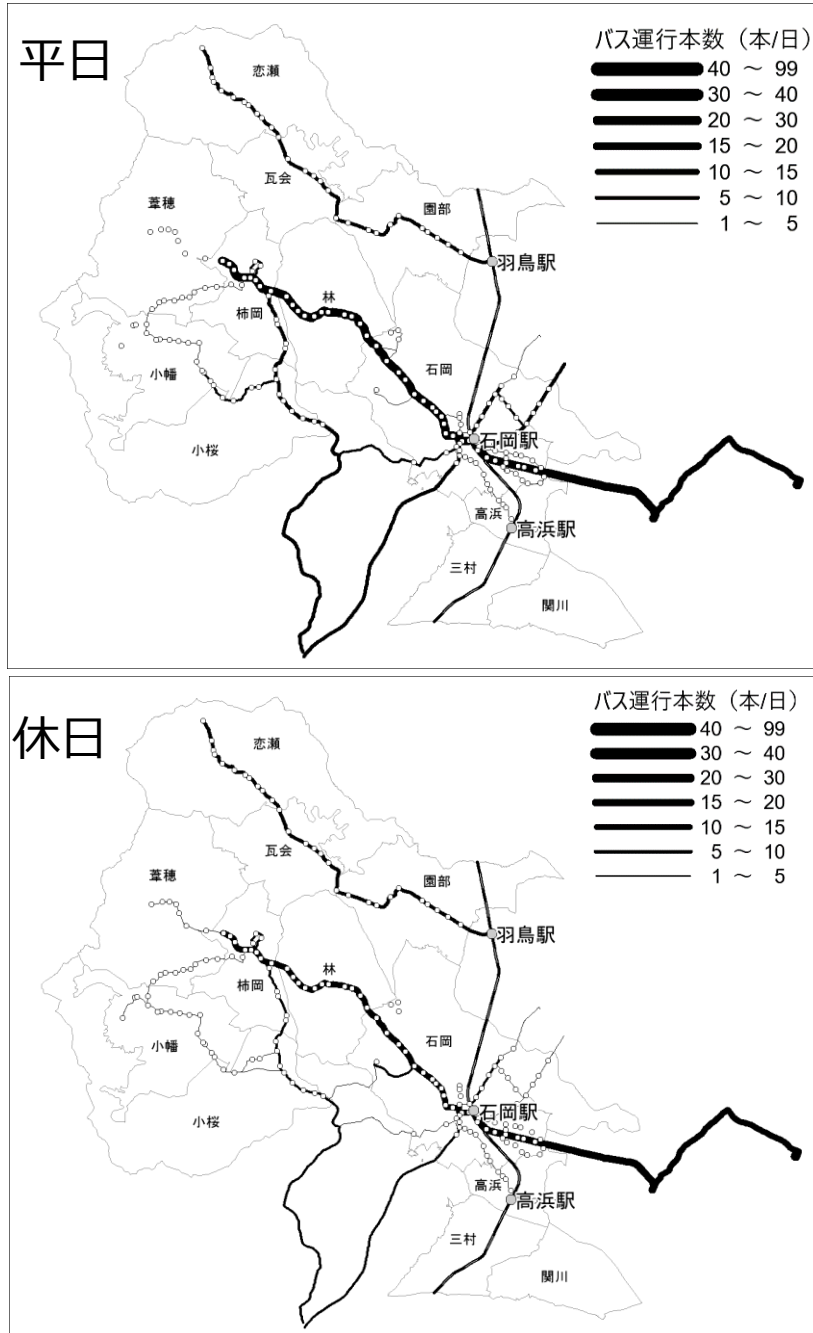


図 石岡市内を走行するバス路線ネットワーク(令和5年度時点)

③ 運行本数

- 平日、休日ともにかしてつバスが多く、次いで林線の運行本数が多い状況です。



出典:国土数値情報

図 石岡市内を走行するバス路線ネットワーク
令和5年度時点の運行本数(上:平日、下:休日)

第2章 地域及び公共交通の現状

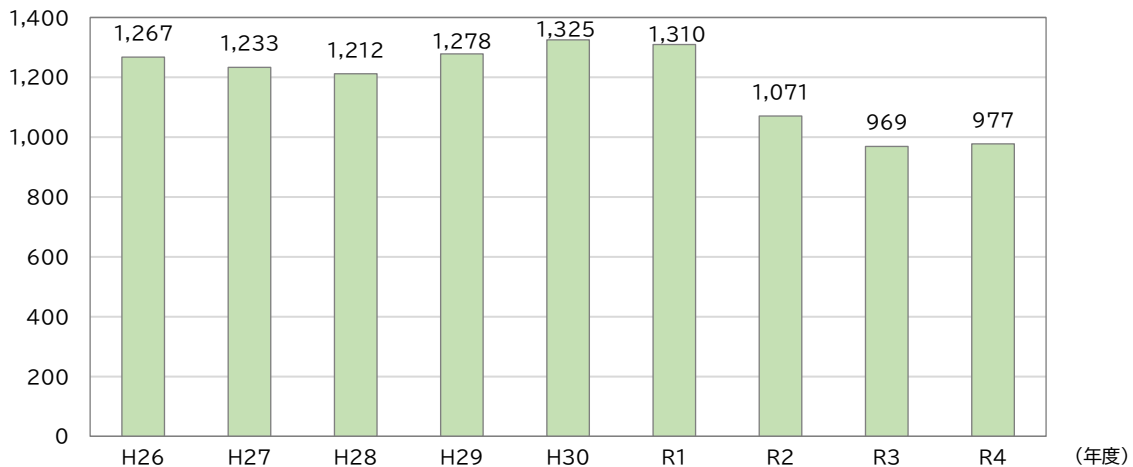
2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

④ 輸送人員の推移

- 輸送人員は、令和元年度までは約120～130万人台を推移していましたが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の蔓延により輸送人員が大きく減少しており、引続き、回復状況について注視する必要があります。
- なお、全国や茨城県においても、平成19年度までは大幅に減少しており、その後横ばい傾向が続いています。

単位:千人/年

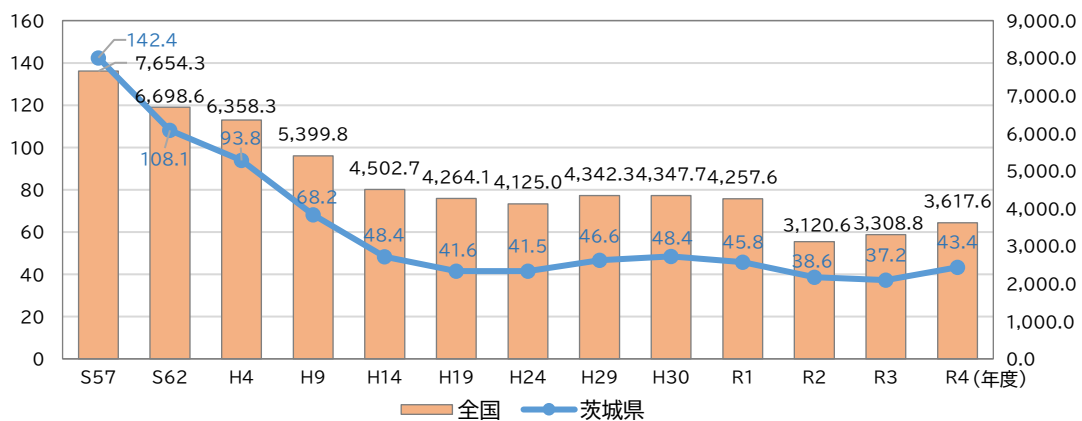


出典: 関鉄グリーンバス提供資料

図 石岡市内運行事業者における路線バス輸送人員の推移

茨城県(単位:百万人/年)

全国(単位:百万人/年)



出典: 自動車輸送統計調査年報

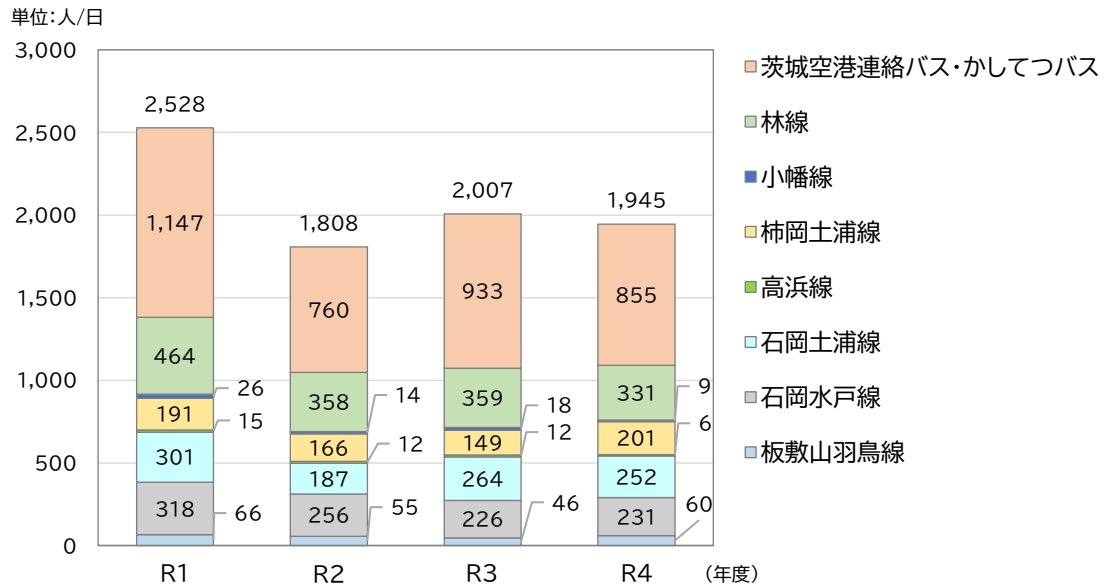
図 全国及び茨城県における路線バスの輸送人員(乗合)の長期推移

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

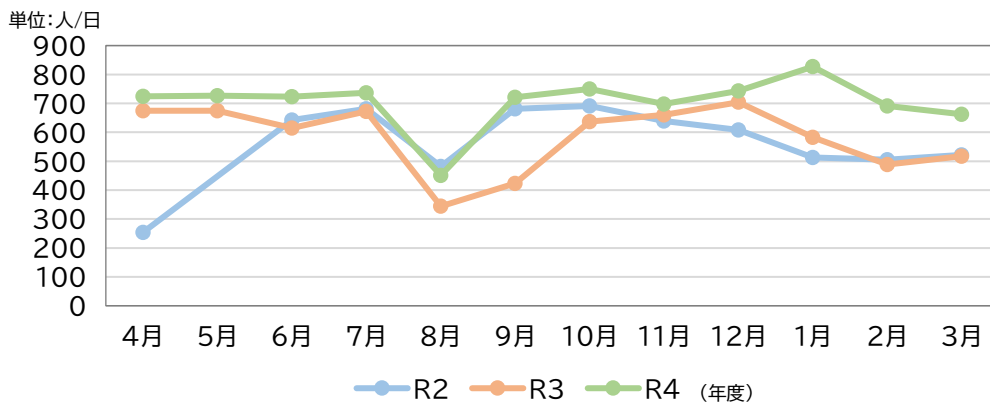
- 路線別にみると令和4年度の輸送人員は1,945人/日です。
- 茨城空港連絡バス・かしてつバスが最も多く、令和4年度で855人/日です。一方で、高浜線や小幡線の利用者数は6～9人/日の利用にとどまり、利用者が極めて少ない状況です。



出典: 関鉄グリーンバス・関東鉄道バス提供資料

図 路線別バスの輸送人員の推移

- かしてつバスの最近3か年の月別の利用者数の推移をみると、新型コロナウイルス感染症が蔓延した令和2年度、令和3年度は利用者が落ち込んでいましたが、令和4年度では回復していることが伺えます。(8月が減少しているのは、夏休みに伴う通学者の減少であると思われます)。



出典: 関鉄グリーンバス

図 かしてつバス月別利用者数

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

⑤ 路線バスの状況

- ・ 利用者の減少を背景に、赤字路線の廃止が進んでいます。
- ・ 恋瀬小学校前－羽鳥駅線は、廃止されましたが、市の代替運行により路線が維持されています。
- ・ 令和6年4月から一部系統の廃止が予定されています。

表 石岡市内を運行するバス路線・系統の廃止一覧(予定を含む)

	廃止日	事業者	対象系統	備考
①	平成18年 9月1日	関鉄 グリーンバス	石岡駅－石岡車庫・堅倉－ 茨城桜本	
②	平成20年 4月1日	関鉄 グリーンバス	柿岡車庫－板敷山前線 の一部(新宿－小見)	デマンド型乗合いタクシー 等でカバーすることとし廃 止合意。
③	平成20年 4月1日	関鉄 グリーンバス	恋瀬小学校前－羽鳥駅	石岡市の代替運行により 路線を維持している。
④	—	関鉄 グリーンバス	—	
⑤	令和6年 4月1日	関鉄 グリーンバス	柿岡車庫・細内・フラワーパー ク前－石岡駅 鉾田駅・高校入口－石岡駅	林線の石岡共立病院経由 線も廃止

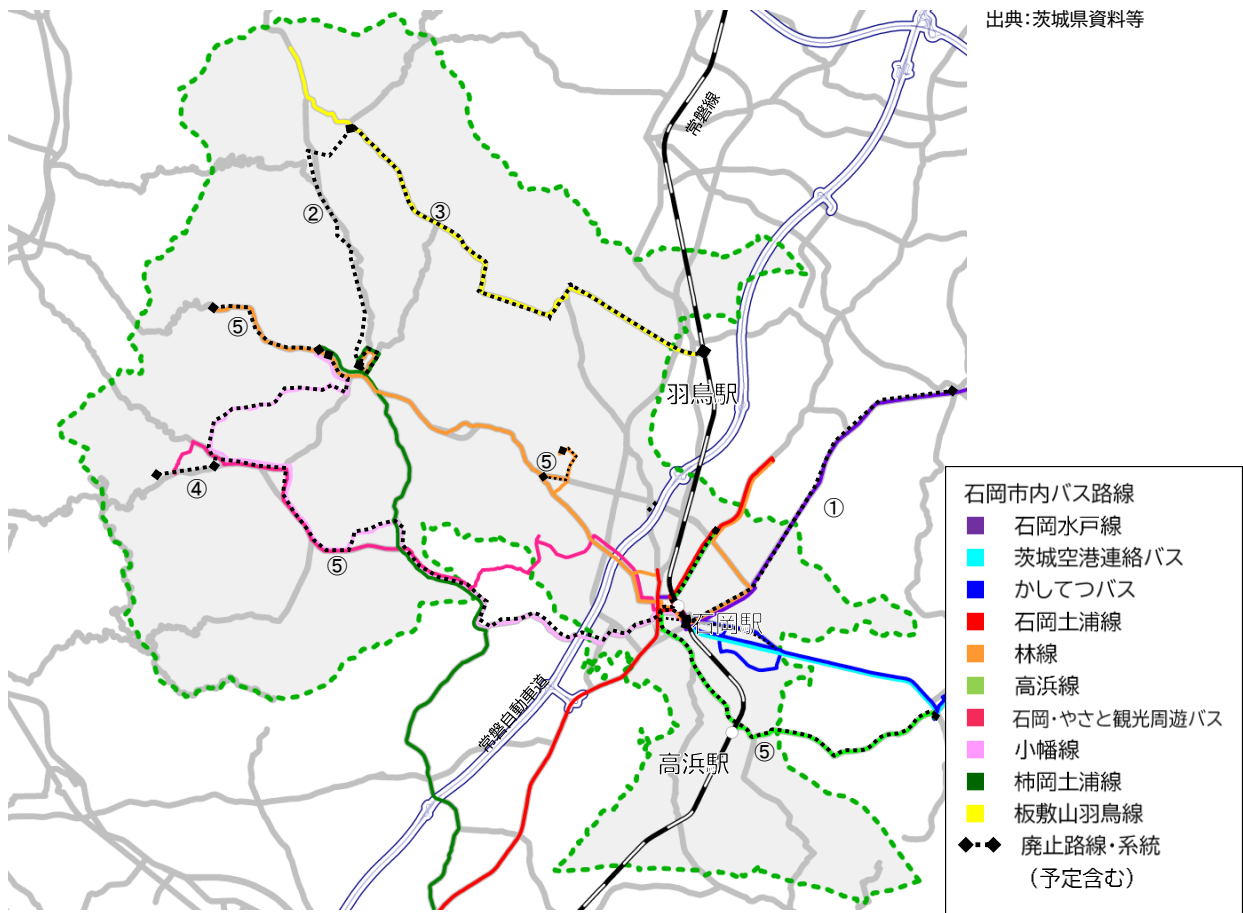
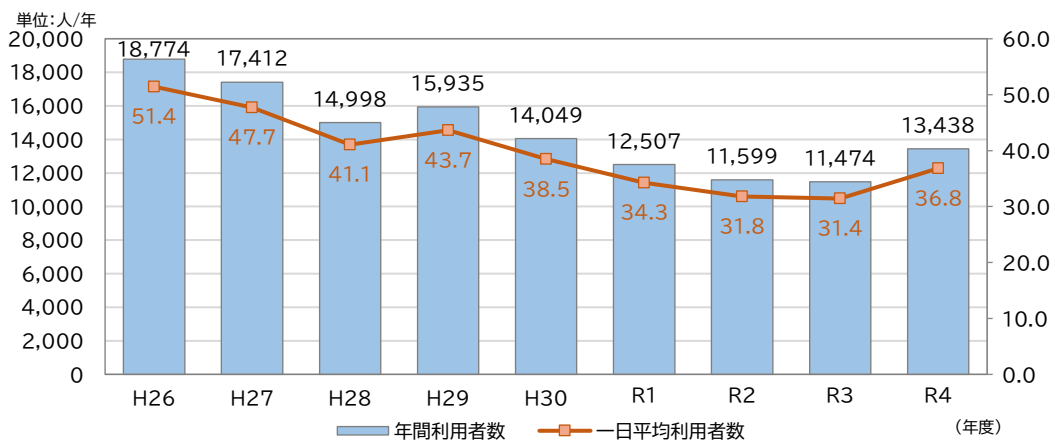


図 過去に廃止・廃止予定の石岡市内を運行するバス路線・系統の位置図

⑥ 廃止代替バス(板敷山羽鳥線)

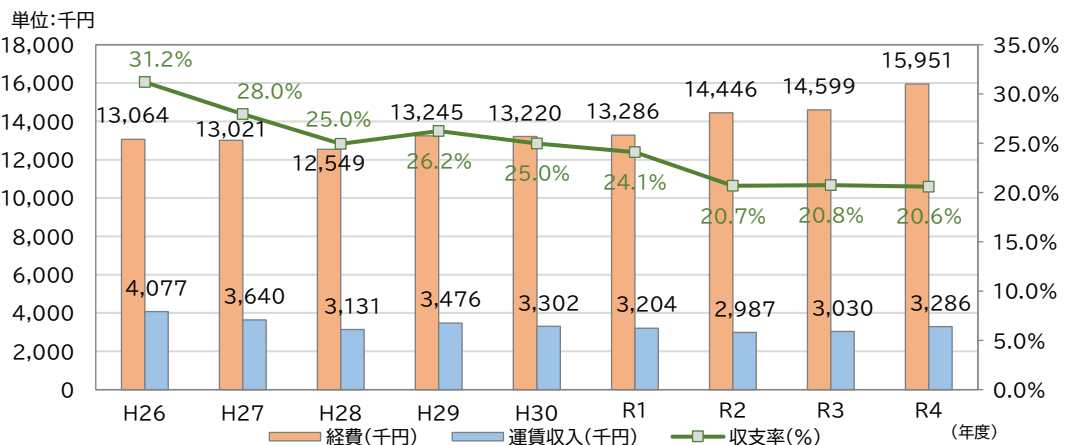
- 板敷山羽鳥線は、民間バスによる路線バスの廃止後、その代替として平成7年度より石岡市が運行を補助し、路線を維持しています。
- 園部地区、有明地区と羽鳥駅(小美玉市)を結ぶ路線で、平成20年3月までは恋瀬小学校止まりでしたが、同年4月より板敷山前まで路線延長して運行することで、大增地区から恋瀬小学校への児童輸送も担っています。令和4年度からはパセオパルケを通るルートに変更したことにより、令和4年度から利用者が増加しています。



出典:石岡市資料

図 廃止代替バス(板敷山羽鳥線)利用者数の推移

- 利用者数の減少に伴い運賃収入が減少することで、収支率は年々悪化しています。



出典:石岡市資料

図 廃止代替バス(板敷山羽鳥線)収支状況の推移

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

(7) 乗合いタクシー

① 運行の経緯

■平成19年4月～運行開始

- ・ 移動制約者の移動手段の確保と中心市街地の活性化を主眼として、平成18年10月よりデマンド交通システムを試験的に導入し、平成19年4月から石岡市全域で運行。平成15年9月より運行してきた巡回バスは、平成19年3月31日で廃止
- ・ 事業主体は、第三セクター(石岡商工会議所と石岡市にて構成するTMO)「株式会社まち未来いしおか」。市内タクシー会社9社に運行協力を呼びかけ、うち3社より乗合いタクシーに協力同意があり、10人乗りワゴン車と15人乗りワゴン車の9台運行

■平成24年4月～事業主体、運行委託先の変更

- ・ 通院、買い物といった福祉的な利用が主である実態を踏まえて、平成24年4月1日より、事業主体は、株式会社まち未来いしおかから、社会福祉法人石岡市社会福祉協議会に変更

■令和5年3月～AIタクシー導入

- ・ 事前に利用者情報をアプリに登録した方が、スマートフォン上で目的地、日時を入力して配車ができるサービスを導入



【平成19年4月(運行開始)～】

4つの運行区域が設定されており、各地区を跨ぐ利用にあたっては、乗換ポイントでの乗換えが必要となっていた。

出典:かしてつ沿線地域都市交通戦略



【平成24年10月～】

4つの運行区域としていたものを2つ(石岡地区と八郷地区)の運行区域に見直し。

乗換え場所は、ふれあいの里石岡ひまわりの館。

出典:石岡市 HP



【平成27年10月～】

運行区域の設定は廃止となったため、石岡地区、八郷地区の2地区を跨ぐ利用であっても、乗換えの必要はなくなっている。

なお、2地区を跨ぐ場合に割増する運賃体系は変わらない。

出典:石岡市社会福祉協議会 HP

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

② 運行内容

運行目的	市内の交通不便地域の解消、そして移動制約者の移動手段の確保を図りつつ、地域の活性化及び福祉の向上を図ることを目的として運行しています。													
事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体は、平成 24 年 4 月 1 日より社会福祉法人石岡市社会福祉協議会 ・運行については、関鉄ハイヤー(株)、(有)ムツミ観光自動車に委託 													
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石岡市に住所を持つ方を対象として、それぞれの場所から順番に乗り合わせて、それぞれの目的地まで送迎する乗合制のサービスを実施しています。 ・自宅や指定場所（石岡市全域、羽鳥駅、神立駅等）へ迎えに行き、希望する目的地までお送りします。（ドアツードア・フルデマンド型） 													
事前登録	<p>利用する前には、あらかじめ事前登録が必要となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話での登録は、受付センターに電話してオペレーターに必要事項を伝えます。 ・Web での登録は、Web 予約システムに必要事項を入力します。 													
利用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の前に、あらかじめ電話又はWeb 予約を行う必要があります。 ・電話予約の受付は、土日・祝日・年末年始 12/29 から 1/3 を除く利用希望日の 14 日前から当日の利用時間まで。受付時間は 7 時 30 分から 17 時 45 分まで。 ・Web 予約の受付は 24 時間（土日・祝日も可能）で、利用希望日の 14 日前から当日の利用時間まで。 													
運行日	<p>月曜日～金曜日 （土日・祝日・年末年始（12/29 から 1/3）は運休）</p>													
運行時間	8 時 15 分～18 時													
利用料金	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>石岡地区又は八郷地区区内で利用</th> <th>石岡地区、八郷地区間で利用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・大人（中学生以上）</td> <td>300 円</td> <td>500 円</td> </tr> <tr> <td>・小学生 ・障がい者手帳等所持者及びその介助者</td> <td>100 円</td> <td>200 円</td> </tr> <tr> <td>・未就学児（保護者の同乗が必須）</td> <td>無料</td> <td>無料</td> </tr> </tbody> </table> <p>○販売窓口 乗合いタクシー車内、関鉄ハイヤー(株)、(有)ムツミ観光自動車、社会福祉協議会</p>		区分	石岡地区又は八郷地区区内で利用	石岡地区、八郷地区間で利用	・大人（中学生以上）	300 円	500 円	・小学生 ・障がい者手帳等所持者及びその介助者	100 円	200 円	・未就学児（保護者の同乗が必須）	無料	無料
区分	石岡地区又は八郷地区区内で利用	石岡地区、八郷地区間で利用												
・大人（中学生以上）	300 円	500 円												
・小学生 ・障がい者手帳等所持者及びその介助者	100 円	200 円												
・未就学児（保護者の同乗が必須）	無料	無料												
運行区域	<ul style="list-style-type: none"> ・運行区域は原則として石岡市内となっていますが、市域外であっても羽鳥駅、神立駅、石岡循環器科脳神経外科病院、カインズホーム石岡玉里店、地域還元施設みらい交流館はアクセス可能です。 													

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況



<乗合いタクシー運行区域>



<運行車両>

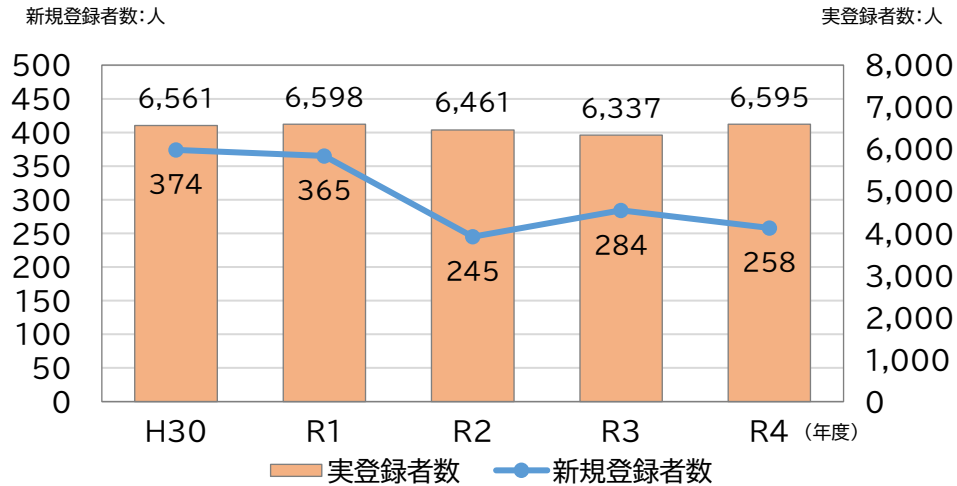
第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

③ 利用状況

- ・ 新規登録者数と利用者数は年々減少傾向にあります。
- ・ 実登録者数は約6,500人前後で推移しています。



出典:石岡市資料

図 乗合いタクシーの登録者数推移(実登録者数)

- ・ 利用者数は年々減少傾向にあり、令和4年度では約3万人／年、1日当たり132人／日の利用者数となっています。また、1便当たりの乗合い率を見ると平成25年度時点では2.38人／便でしたが、令和4年度では1.73人／便に減少しています。

表 乗合いタクシーの利用者数・乗合率の推移

(年度)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年間利用者数(人)	44,203	42,750	41,838	38,990	37,545	36,698	36,040	31,299	33,528	31,994
1日当たりの利用者数(人)	181	175	172	160	154	150	148	129	139	132
乗合い率(人／便)	2.38	2.31	2.27	2.11	2.02	1.98	1.95	1.69	1.82	1.73 (2月まで)
新規登録者数(人)	316	345	398	346	426	340	365	245	284	258
車両借り上げ料(円／時)	2,620	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700	2,750	2,750	2,794

※乗合い率=(年間利用者数÷運行日数)÷運行便数／日

出典:石岡市資料

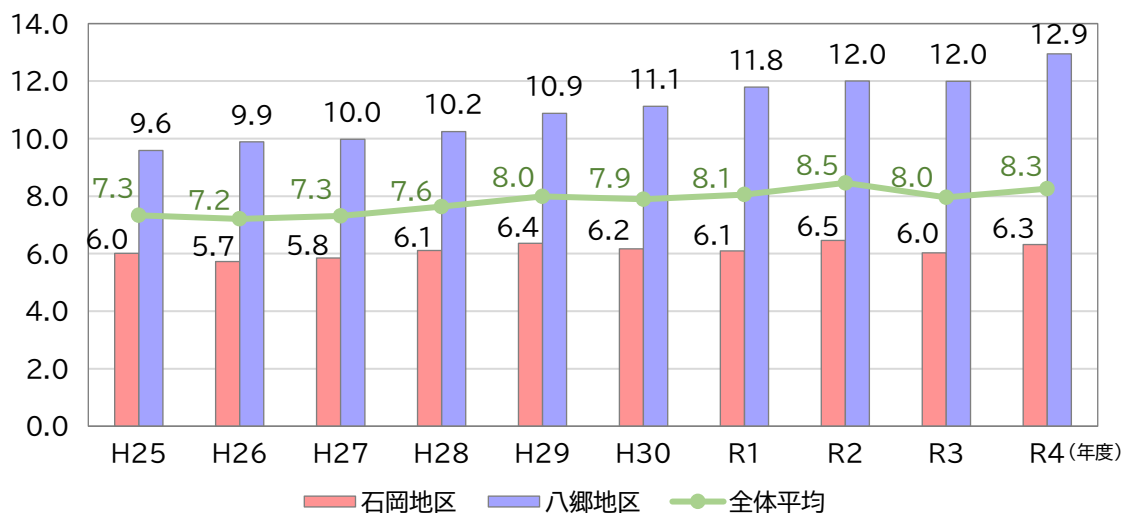
第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

- 1人当たりの輸送距離は石岡地区より八郷地区が長くなっています。
- 八郷地区は年々1人当たりの輸送距離が増加傾向にあります。
- 乗合い率の低下と、1人当たりの輸送距離が増加傾向にあることを踏まえると、長距離での個人利用が多くなっていると考えられます。

単位:km/人



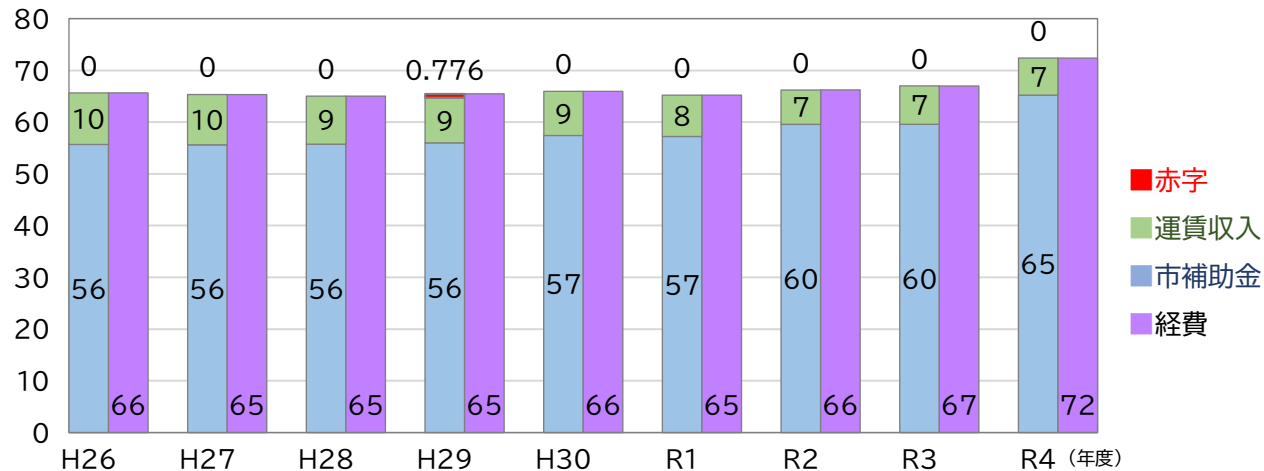
出典:石岡市資料

図 乗合いタクシーの1人当たりの輸送距離推移

④ 乗合いタクシーの収支状況

- 平成30年度以降、赤字は発生していませんが、支給されている補助金の額は増加傾向にあります。

単位:百万円



出典:石岡市資料

図 乗合いタクシーの収支状況

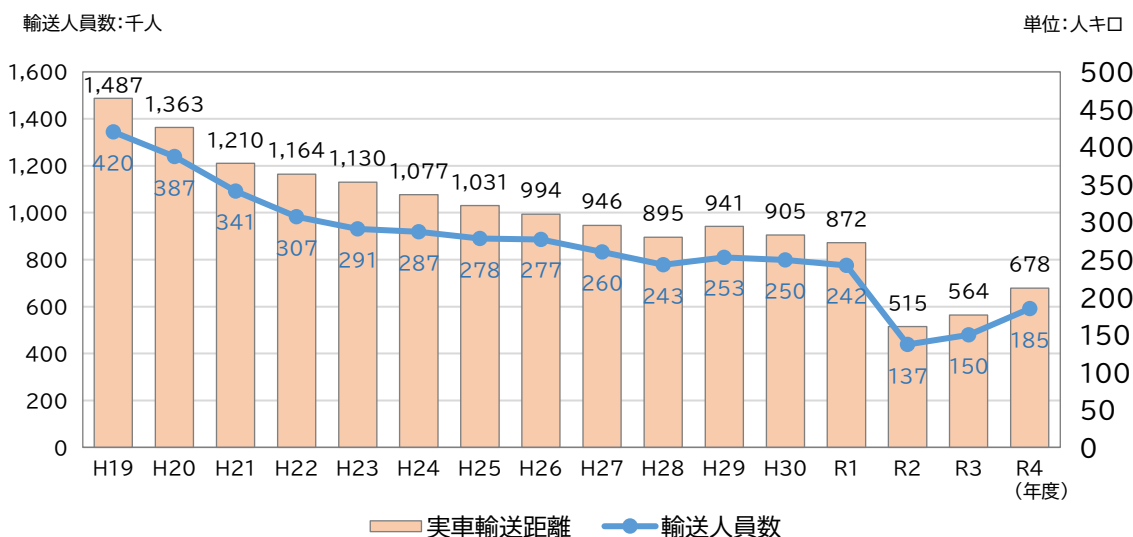
(8) タクシー

- 市内に事業所を置く7社含め、10社が市内でタクシーの営業を行っています。

事業者名	所在地
石岡地区通運(株)	茨城県石岡市石岡2240-2
(有)石岡ハイヤー	茨城県石岡市国府6-1-22
関鉄ハイヤー(株)	茨城県石岡市府中1-2-6
横川自動車(有)	茨城県石岡市国府1-2-5-101
(有)上田タクシー	茨城県小美玉市小川1412
羽鳥駅前ハイヤー(有)	茨城県小美玉市羽鳥2689-4
羽鳥駅前ハイヤー(有) 八郷営業所	茨城県石岡市山崎字石塔2244-46
(有)美野里タクシー	茨城県小美玉市堅倉996-5
柿岡合同ハイヤー(有)	茨城県石岡市柿岡1913-3
(有)ムツミ観光自動車	茨城県石岡市柿岡2989-1

出典:茨城県ハイヤー・タクシー協会HP

- タクシーの輸送人員、実車輸送距離ともに減少傾向にあります。特に令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の蔓延で利用者が大幅に減少しており、引き続き、回復状況を注視する必要があります。




出典:茨城県ハイヤー・タクシー協会提供資料

図 石岡市内のタクシーの利用者数推移

(9) 福祉有償運送

①運行内容

<p>概要</p>	<p>石岡市社会福祉協議会では、移動困難な高齢者等が医療機関への通院や公共機関での申請手続きを行う際、協力会員が自家用車で利用会員の自宅から送迎及び介助を行うサービスを実施しています。</p>  <p>図 石岡市内の福祉有償運送のしくみ</p>
<p>協力会員 (協力できる方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内在住の心身共に健康で、お互いに助け合いの精神で協力して下さる方 ・ 協力会員として事前登録が必要
<p>利用会員 (利用したい方)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内在住で要介護認定者、障がい者手帳1級～3級所持者、その他単独で公共機関を利用できない自立歩行困難者 ・ 利用会員として事前登録が必要
<p>利用時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月曜日～金曜日 ※ただし、祝日及び12月28日～1月5日は除く。 ・ 基本時間は午前9時～午後5時
<p>利用料金</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 利用料金 1時間600円 ※時間外(午前7時～午前9時、午後5時～午後7時)は1時間300円増し ② 交通費 1km当たり20円 ※5km未満については一律100円 ③ 協力会員宅から利用会員宅までの交通費 <ul style="list-style-type: none"> ・1km～ 5km未満 100円 ・5km～10km未満 200円 <p>※以降、5kmごとに100円を加算</p>

第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

- 福祉有償運送の利用回数は、平成20年度から減少傾向にあります。

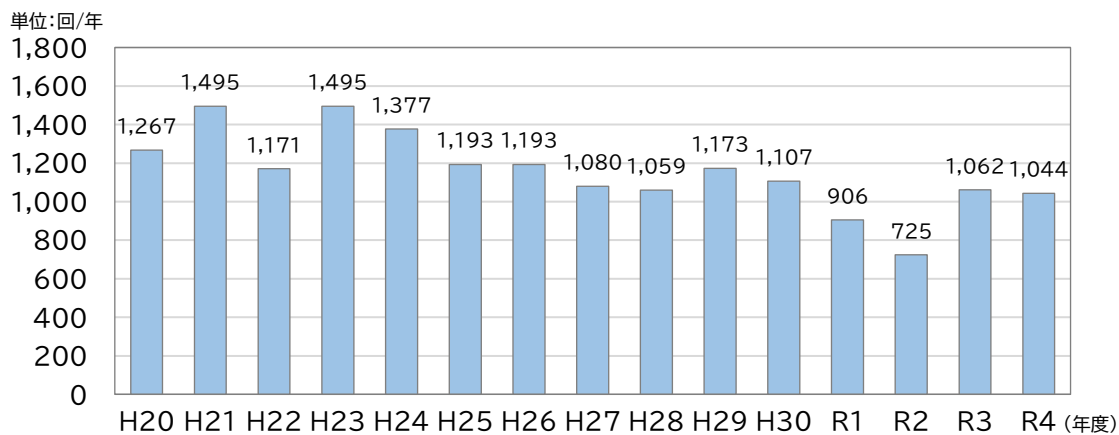


図 福祉有償運送の利用回数推移

出典:石岡市資料

(10) 石岡・やさと観光周遊バス

①運行内容

<p>概要</p>	<p>石岡市観光協会では、関鉄グリーンバス株式会社と協力し、石岡駅から市内観光施設(常陸風土記の丘、いばらきフラワーパーク、八郷蒸溜所、やさと温泉ゆりの郷、十三塚果樹団地等)を結ぶ「石岡・やさと観光周遊バス」の運行を2022年(令和4年)から開始 ※2021年までは観光巡回車「石岡ぐるりん」が運行</p>  <p>図 石岡・やさと観光周遊バスの概要</p>
<p>運行ルート</p>	<p>石岡駅から常陸風土記の丘、いばらきフラワーパーク、やさと温泉ゆりの郷、十三塚果樹団地 等 土日・祝日は環状運行</p>
<p>便数・時間</p>	<p>平日：3本/日 土日・祝日：7本/日</p>
<p>運賃</p>	<p>主な区間の運賃 ・石岡駅→常陸風土記の丘 310円(IC305円) ・石岡駅→いばらきフラワーパーク 620円(IC618円) ・石岡駅→やさと温泉ゆりの郷、十三塚果樹団地 740円(IC734円) ・1日フリーきっぷ(乗り降り自由) 1,000円 ※土日・祝日のみ販売</p>

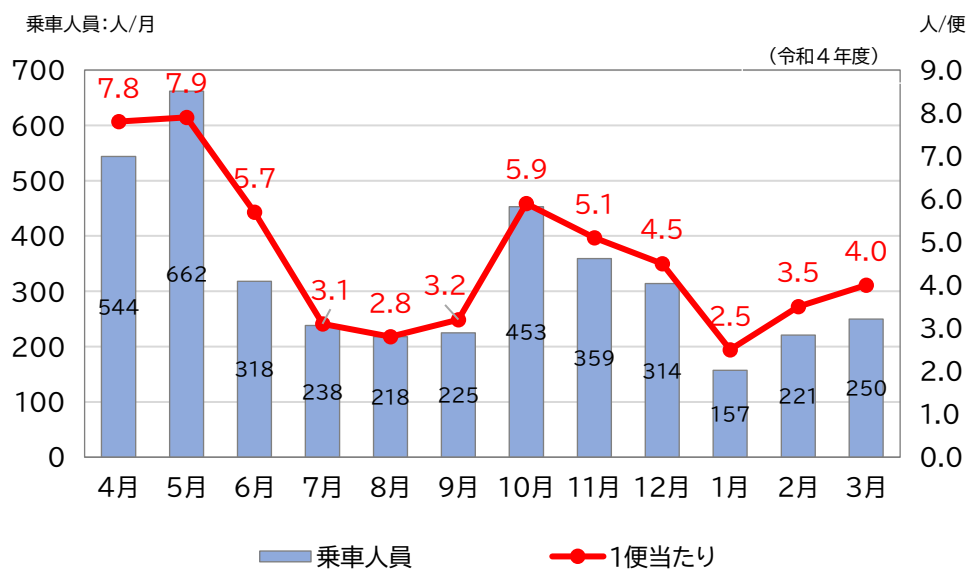
第2章 地域及び公共交通の現状

2-1
地域の現況

2-2
公共交通の
現況

②利用状況

- 令和4年度の月別で見ると4月、5月、10月などの行楽シーズンに多くの利用が見られます。また、1便当たりの利用者数は3～8人/便となっています。



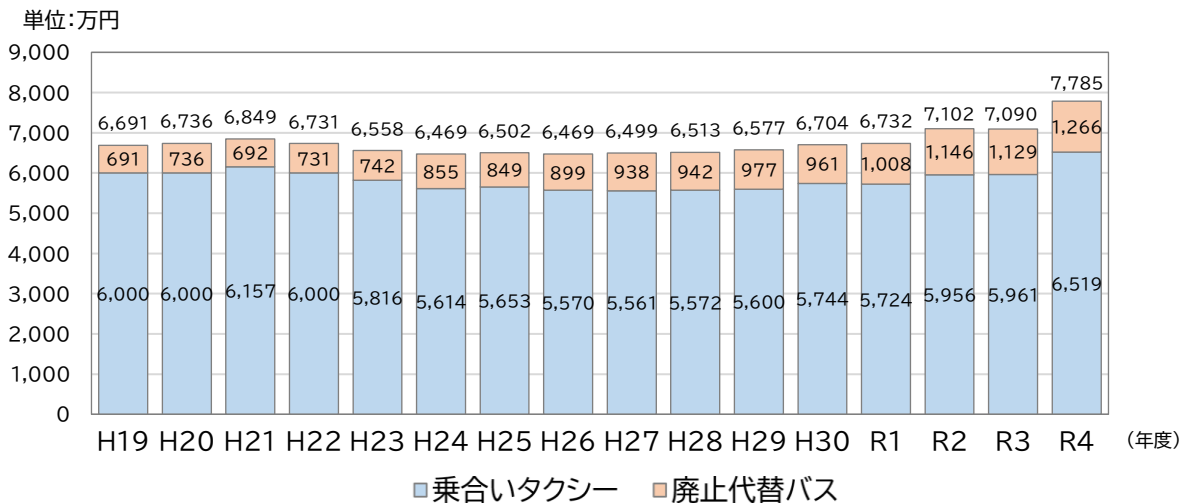
出典:石岡市資料

図 石岡・やさと観光周遊バスの月別利用者数推移(令和4年度)

2-1 地域の現況	2-2 公共交通の 現況
--------------	--------------------

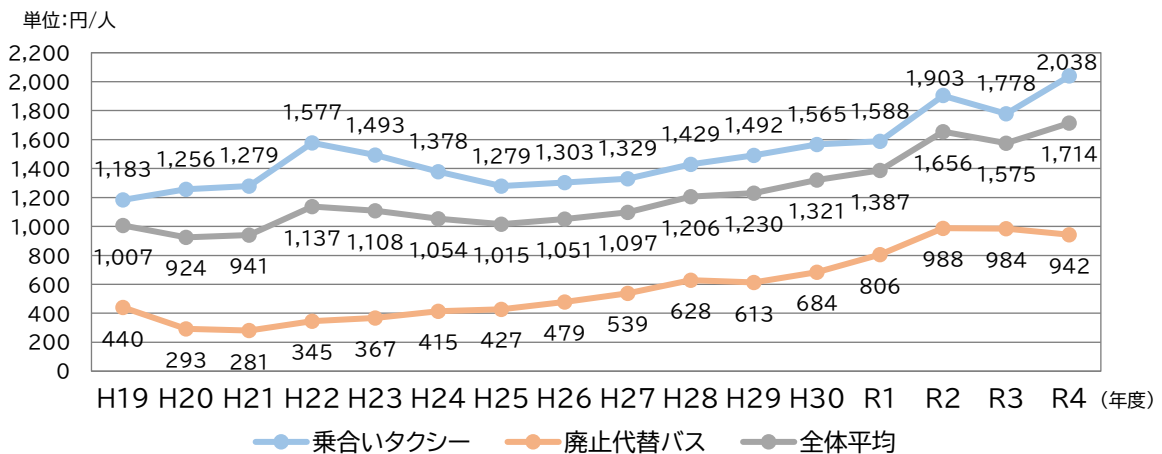
(11)公共交通にかかる市の財政負担状況

- 地域公共交通に係る市の負担額は年間約77,850千円(令和4年度決算額)となっています。内訳は、乗合いタクシーの運行事業者である石岡市社会福祉協議会への運行補助金として約65,200千円、廃止代替バス(板敷山羽鳥線)の運行に係る補助金として約12,700千円となっています。
- 市負担額は、令和2年度から乗合いタクシー、廃止代替バス分ともに増加傾向にあります。
- 1人輸送当たりの市負担額は、平成25年度以降で廃止代替バス、乗合いタクシーともに増加しており、令和4年度は乗合いタクシーの負担額が2千円を上回っています。



出典:石岡市資料
※数値は小数点以下四捨五入

図 交通モード別の市負担額の推移



出典:石岡市資料

図 1人輸送当たりの市負担額の推移